

2016 年 公益財団法人信頼資本財団 事業報告書

目次

	ページ
I. 基本方針	2
II 事業内容	
1. 融資事業(公益目的事業1)	2-5
2. 知恵・知見の蓄積事業(公益目的事業2)	5-6
3. 助成事業(公益目的事業3)	6-11
4. 社会的事業調査・研究・事業計画・提携事業(収益事業1)	11
5. 社会企業家育成事業(収益事業2)	11-16
6. 会員制度、寄付獲得事業	17
III. 管理部門	
1. 業務執行体制	18

【添付資料】

添付資料 1 2016 年 正味財産増減表内訳

添付資料 2 2016 年 貸借対照表内訳

I. 基本方針

・2014 年以降、重点的に取り組んできた社会的事業家の育成とそのネットワーク化に継続して取り組み、社会的事業家が活躍し易い土壌作りに取り組んだ。

・当法人の設立目的である、信託資本制度充実を目的とした良好な人間関係や知恵のような目に見えない資産(無形資産)の創出や蓄積をと共に、信託資本制度充実のための相互扶助ネットワーク確立に取り組んだ。

・さらに、当年度の事業目標にならい、人が自らの喜びを動機として社会的行動ができるための支援活動として、寄付商品の開発、郊外や運営するコミュニティスペース活用を通じた財団活動への主体的な参画者増加をはかり、社会的事業家とその応援者のプラットフォーム構築に取り組んだ。

II. 事業内容

1. 融資事業(公益目的事業1)

豊かな人間関係の回復の向上に資する社会福祉、教育事業や地域の抱える課題を解決するコミュニティビジネス、または自然環境の回復と向上に資する自然環境保全・整備事業や人間と自然の共生、地域活性化に資するような第一次産業などの社会的事業に対し無利子・無担保で融資を行った。

1-1. 財団融資

■実績

※全融資先からの返済に関して、当年度内に貸倒等は発生しなかった。

融資実施件数： 40 件

融資実施団体数： 29 団体

融資実績額： 92,570,000 円

融資未返済額： 2,660,000 円

① 通常融資

【第 15 期募集】

- ・受付期間： 2016 年 1 月 6 日(水)～ 2016 年 3 月 25 日(金) ※郵送物〆切： 3 月 28 日(月)
- ・審査会日： 2016 年 6 月 17 日(金)
- ・応募件数： 3 件
- ・一次(書類)審査合格件数： 2 件

- ・当期実施件数：1 件

└融資対象者：合同会社 nimai-nitai

代表者名：廣中桃子

所在地：滋賀県近江八幡市出町 59

事業内容：インド最貧困州といわれるビハール州ブッダガヤを拠点に、村の女性たちに裁縫の技術指導をしながらオリジナルブランド「nimai-nitai(ニマイニタイ)」のアパレル衣料・雑貨を商品企画・生産し、販売。

「ひとりの人に出会うように、ひとつのモノに出会う」をコンセプトに、インドに伝わる手仕事の素材を活かして、生産背景を大切にしたモノづくりを行い、農村地域で雇用を生み出すことで、現地の人々の経済的自立による貧困解決を目指す。デザイン力や品質の高い製品を作ることにより、デパートやギャラリー等での販売を展開。

契約時期：2017 年 1 月(予定)

返済額：1,000,000 円

返済期間：12 ヶ月

【第 16 期募集】

- ・受付期間：2016 年 8 月 1 日(月)～ 2016 年 9 月 28 日(水) ※郵送物〆切：9 月 30 日(金)
- ・審査会日：2016 年 12 月 15 日(木)
- ・応募件数：2 件
- ・一次(書類)審査合格件数：1 件
- ・当期実施件数：1 件

└融資対象者：一般社団法人くじら雲

代表者名：片桐直哉

所在地：京都府京都市北区紫野中柏野町 16-9

事業内容：下記の事業を中核として、地元商店街の界限にて、子どもたちと、その子どもたちを見守る大人たちが気軽に立ち寄れる居場所づくりを実施。

- ①放課後等デイサービス事業(障害のある 6 歳～18 歳の子どもたちの学童保育)
- ②児童発達支援事業(障害のある未就学児童の通所支援)
- ③民間学童保育事業(近隣のスペースを活用)

職員と子どもたちだけで過ごす施設をつくるのではなく、商店街を歩きかう人や学生、地域の住民などの方々が共につどい、子どもたちを見守り関われる場をつくり、事業を通して法人の理念である「地域に暮らす一人ひとりが共に支え合うことのできる社会」の実現を目指す。

契約時期：2017 年 1 月(予定)

返済額：3,000,000 円

返済期間：24 ヶ月

【継続実施】 5 件

- ↳認定 NPO 法人箕面こどもの森学園(融資額 1,000,000 円/期間 2016 年 3 月 31 日～2017 年 2 月 28 日)
- ↳株式会社HubTokyo(融資額 1,000,000 円/期間 2014 年 9 月 3 日～2016 年 8 月 31 日)
- ↳株式会社和える(融資額 1,000,000 円/期間 2014 年 3 月 10 日～2016 年 2 月 28 日)
- ↳株式会社ソノリテ(融資額 700,000 円/期間 2015 年 8 月 31 日～2016 年 1 月 31 日)
- ↳一般社団法人スマイルゲート(融資額 1,000,000 円/期間 2013 年 12 月 24 日～2016 年 1 月 31 日)

② 国または地方公共団体ないしそれに準じる組織から直接補助金、助成金等の交付を受けるまでの資金のつなぎを目的とする融資(以下:つなぎ融資という)

【募集】 随時

- ・応募件数: 1 件
- ・新規実施件数: 1 件

↳融資対象者: 特定非営利活動法人英田上山棚田団

代表者名: 猪野全代

所在地: 岡山県美作市上山2135番地

事業内容: 下記の通り。

- (1)岡山県美作市上山地区の棚田の再生をはじめとする農林業の振興、自然エネルギーの活用や水資源の確保による里山の環境の保全。
- (2)地元の資源を活用した農林業体験やツーリング、古民家を利用したカフェや民宿、陶芸などの各種のワークショップ、棚田を使ったコンサートなどのイベントの開催など新しいコンテンツの提供。

契約日: 2016 年 7 月 20 日

返済額: 2,500,000 円

返済期間: 10 ヶ月

【継続実施】 1 件

↳特定非営利活動法人英田上山棚田団(融資額 3,000,000 円/2015 年 7 月 13 日～2016 年 3 月 31 日)

1-2. 金融機関との協働融資(京都信用金庫、以下京信、との協働融資)

融資は京都信用金庫から実施される。当財団は一次審査を行い、二次審査を京都信用金庫が行う。融資が決定した事業者は、京都信用金庫に利子を支払うが、当財団が利子相当額を当該事業者に助成することによって、当該事業者は、無利子・無担保で融資を受けることができる。

今年度は 1 件の応募があったが、現段階にて当事業を通しての支援は不要と判断された。

【募集】 随時

- ・応募件数: 1 件
- ・審査合格件数: 0 件
- ・新規実施件数: 0 件

【継続実施団体】 2 件

└助成対象者(継続):株式会社坂ノ途中

- ・助成期間: 2013 年 10 月 31 日～2018 年 10 月 20 日
- ・助成額: 51,200 円(2015 年 10 月～2016 年 9 月間、12 ヶ月の融資返済にかかる利子分を補填)
- ・実施日: 2016 年 8 月 31 日,2016 年 10 月 31 日

└助成対象者:NPO 法人エクスクラメーションスタイル

- ・助成期間: 2014 年 5 月 30 日～2024 年 4 月 30 日
- ・助成額: 396,244 円
- ・実施日: 2016 年 8 月 4 日

2. 知恵・知見の蓄積事業(公益目的事業2)

2-1. 良質な知恵・知見および人的ネットワークの蓄積

融資事業(公 1)や助成事業(公 3)において、専門家の審査を受けた事業者ならびにその応援団ともいえる信頼責任者 3 名の知恵・知見および人的ネットワークがデータベースに登録されるため、社会的事業に資する良質な知恵・知見および人的ネットワークの蓄積が可能となる。

■実績

・当年度新たに融資・助成事業の対象となった事業の各代表者から提供される「社会に還元できる知恵申請書」とその信頼責任者から提供される「信頼責任者申込書」に基づいた知恵・知見の蓄積および人的ネットワークの蓄積を行った。

2-2. ウェブによる情報公開による知恵・知見の自己増殖

データベースに登録された良質な知恵・知見および人的ネットワークは財団ホームページ上で公開されるため、不特定多数の人がそれらを活用し、新たな社会的事業の創出、活性化を行うことが可能となる。また、ウェブを使うことで、離れた地域間での情報の交換が可能となるため、同時多発的に知恵・知見、人的ネットワークの交換・創出が可能となる。さらにデータベースを活用すること

により、新たな知恵・知見および人的ネットワークの構築に成功した利用者に、それらをデータベースに登録してもらうよう促すことで、蓄積される知恵・知見、人的ネットワークが自己増殖する仕組みとなる。

■実績

融資事業・助成事業及び信頼責任者に提供を求めた知恵・知見データ登録者と、社会的事業や課題に関する解決策を求める事業家・個人を結び付ける web システム構築に取り組んだ。さらに、データ登録者のうち、web システムへの登録に同意した登録者を対象に、本システムの試験運用を開始した。

データ登録者数(年度末時点)

①融資事業代表者・信頼責任者 登録数	51 名
②助成登録数事業代表者・信頼責任者 登録数	193 名
知恵・知見データ登録者数(①+②)	244 名
上記のうち web システム登録者数	67 名

2-3. 信頼に基づく知恵・知見、人的ネットワーク流通の仕組み

知恵・知見および人的ネットワークのような無形資産は有形資産のように消費すれば消耗するものではなく、むしろ使用されるごとにその信頼度という価値は増加する。また無形資産を活用する判断基準のひとつはその資産の信頼度という価値である。したがって、財団のデータベース上に登録された無形資産に「信頼度」という評価軸で評価を与える仕組みをつくることで、信頼度に基づく無形資産の流通がデータベースを通して広がる仕組みとなる。

■実績

データベース上の知恵・知見情報を掲載した web システムの一部として、登録者の信頼度をポイントとして可視化し、他の登録者への貢献度に比例してサポートを受けられる仕組みを設置した。

3. 助成事業(共感助成)

豊かな人間関係の回復と向上に資する社会福祉、教育事業や地域の抱える課題を解決するコミュニティビジネス、または自然環境の回復と向上に資する自然環境保全・整備事業や人間と自然の共生、地域活性化に資するような第一次産業などの社会的事業に対し助成を行う。助成先は社会的事業に関する知見(無償)や事業に関わる人脈を財団のデータベースに提供することで、それらの公的活用を促す「知恵・知見の蓄積事業(公2)」に協力する。助成審査は、財団役員等(評議

員、理事、監事)で構成される助成審査委員会が行う。また、助成対象事業の専門性を審査員が有していない場合は、適宜外部の専門家を招聘する。

本助成は、寄付者が特定の事業やテーマを指定して寄付をし、その寄付金をもとに助成を行う、「事業指定助成」という形態をとる。

■実績：実施 20 団体

(円)

助成先団体	寄付額合計	手数料	助成金額
特定非営利活動法人チームレスキュー	1,673	588	1,085
公益財団法人民際センター	0	0	0
特定非営利活動法人ユナイテッドアース	416,207	52,431	363,776
ソーシャルジャスティス基金	0	0	0
特定非営利活動法人オン・ザ・ロード	0	0	0
NPO 法人互理いちごっこ	0	0	0
特定非営利活動法人母と子の虹の架け橋	1,757	608	1,149
NPO 法人底上げ	128,000	18,660	109,340
一般社団法人 KYOTOGRAPHIE	3,329	549	2,780
公益社団法人難民起業サポートファンド	17,337	2,382	14,955
国際環境 NGO FoE Japan	0	0	0
一般社団法人源流地域資源再生ネットワーク	0	0	0
構想日本	380,000	53,370	326,630
一般財団法人教育支援グローバル基金	1,561,062	82,771	1,478,291
一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター	8,140,907	422,787	7,718,120
特定非営利活動法人キッズドア	3,091,572	348,265	2,743,307
東日本大震災子ども未来基金	25,000	1,080	23,920
一般社団法人 Japan Treasure Summit	12,500,000	1,001,680	11,853,320
一般社団法人グリーンピース・ジャパン	40,023,448	1,002,222	390,212,26
一般社団法人アクト・ビヨンド・トラスト	64,005,000	1,000,670	63,004,330

<各団体詳細>

・特定非営利活動法人チームレスキュー

代表者名：小野 聡美

所在地：愛知県瀬戸市市場町 13 番地

事業内容：東日本大震災直後から宮城県七ヶ浜町を拠点に、復興支援活動を行う。

・公益財団法人民際センター

代表者名：秋尾 晃正

所在地：東京都新宿区山吹町 337 江戸川橋東誠ビル 5F

事業内容：子どもたちの豊かな想像力と思考力を育むため、ラオスの子どもたちに図書セット（約 150 冊の本が入った木箱）を贈る事業を行う。

・特定非営利活動法人ユナイテッドアース協会

代表者名： 淵上 智信

所在地：兵庫県神戸市中央区東川崎町 1-7-4

事業内容：市民の共働によって、「心育まれる希望あふれる社会」を実現すべく、海外の貧困地域への自立支援活動や環境保護活動など、様々な社会問題への取り組みを行う。

・ソーシャルジャスティス基金

代表者名： 上村 英明

所在地：新宿区歌舞伎町 2-19-13 ASKビル 5F

事業内容：公正な社会の実現にむけ市民の提案活動を助成、社会対話の場を創る市民ファンドの運営。

・特定非営利活動法人オン・ザ・ロード

代表者名： 高橋 歩

所在地：東京都世田谷区北沢 2-33-5 下北沢 TKSビル 3階

事業内容：インド、ウッタルプラデーシュ州のラームナガルという町で、フリースクール（無料で通える学校）「マザーベイビースクール」を運営。

・NPO 法人亘理いちごっこ

代表者名： 馬場 照子

所在地：宮城県亘理郡亘理町字南町東 10-1

事業内容：被災された地域の方への食事提供、地域内外の交流の場作りを行う。

・特定非営利活動法人母と子の虹の架け橋

代表者名： 若菜 多摩英

所在地：岩手県花巻市田力第 9 地割 24 番地

事業内容：寄り添い型の相談で、個々人に合った支援計画の下、ママの自律・自立を支援する。また、“サロン”を運営し、ママの自己肯定感・自尊感情を体験的に獲得する場とする活動を行う。

・特定非営利活動法人底上げ

代表者名： 矢部 寛明

所在地：宮城県気仙沼市南が丘 2-2-12

事業内容： 気仙沼市・南三陸町の高校生が地域課題に対し主体的に活動できる持続可能な環境の構築を行う。

・一般社団法人 KYOTOGRAPHIE

代表者名： 仲西 祐介

所在地： 京都府京都市北区鞍馬口通西入ル新御霊口町 270

事業内容： 日本の古都・京都を舞台に、伝統文化と現代アートの融合を図る国際写真フェスティバル。いまだ評価の遅れている写真芸術の理解に一石を投じるべく、国内外の写真家および写真作品を世界的な視点で選出し、京都市内のギャラリーやカフェなど約 50 カ所にて紹介に努める。

・公益社団法人難民起業サポートファンド

代表者名： 吉山 昌

所在地： 東京都新宿区四谷 1-7-10 第三鹿倉ビル 6 階

事業内容： “難民起業家”をマイクロファイナンスと経営支援で支えている。この活動により難民個人や難民コミュニティの状況改善を実現する。

・国際環境 NGO FoE Japan

代表者名： 三柴 淳一

所在地： 東京都板橋区小茂根 1-21-9

事業内容： 地球規模での環境問題に取り組む活動を行う。

・一般社団法人源流地域資源再生ネットワーク

代表者名： 池田 徹

所在地： 新潟県十日町市四日町 1426 の 6

事業内容： 日本の源流地域に息づく自然、歴史、文化、伝統、技、英知等の「たからもの」の再発見と地球環境と折り合いを付けながらも質の高いライフスタイルを探求し、信頼で繋がる未来社会を創生するための事業を行う。

・構想日本

代表者名： 加藤 秀樹

所在地： 東京都千代田区平河町 2-9-2 エスパリエ平河町 3F

事業内容： 政策研究で終わりではなく、議員、行政職員、企業経営者、研究者など、様々な世界で活動している人たちと連携して、その経験や問題意識を政策にして、知恵を結集して政策を実現する活動を行う。

・一般財団法人教育支援グローバル基金

代表者：藤沢 久美

所在地：東京都渋谷区神南 1-5-7 ETIC.内

事業内容：東日本大震災で被災した若者がグローバルに活躍するリーダーへと成長することを支援することを目的とした事業として、包括的なリーダーシップ支援事業を実施。

・一般社団法人ピースポート災害ボランティアセンター

代表者：山本 隆

所在地：東京都新宿区高田馬場 3-13-1-B1

事業内容：国内外で起こる災害に対し、スタッフ・ボランティアを現場へ派遣し、素早くかつ大規模に被災者支援を行う。活動内容は、支援物資の配布、炊き出し、泥かきなどの清掃作業、避難所・仮設住宅居住者へのサポートなど、行政による公助では十分な対応が追いつかないものが中心。

・特定非営利活動法人キッズドア

代表者：渡辺 由美子

所在地：東京都中央区新川 2-1-11 八重洲パークビル 7 階

事業内容：親の収入によって教育機会を奪われてしまいがちな子ども達へ無料の学習支援を中心に、すべての子どもが夢と希望のもてる社会の実現に向け「子どもの貧困」および「教育格差」を解決するための活動を行う。

・東日本大震災こども未来基金

代表者名：高成田 享

所在地：仙台市青葉区大町 2-3-12 大町 マンション 902 号室

事業内容：東日本大震災により親を亡くし、厳しい学習環境におかれている子どもたちが学業を続けていけるように、経済的な支援を行う。

・一般社団法人 Japan Treasure Summit

代表者：小宮山 宏

所在地：東京都渋谷区南平台町 6-4-201

事業内容：学術芸術のすばらしさ伝え、寄附により学術芸術を支える文化の醸成について考える機会を提供するサロン活動を行う。また、人材育成として学術芸術活動のためのファンドレイザー育成プログラムを展開。

・一般社団法人グリーンピース・ジャパン

代表者：細川 弘明

所在地：東京都新宿区西新宿 81-13-11 NFビル 2F

事業内容：地球規模の環境破壊を止めることを目的に、環境破壊の現場調査、科学的な分析

結果に基づくレポートや代替案の作成、メディア等への情報提供、国連「総合協議資格」を利用した国際会議での働きかけや交渉過程の監視、政府・企業への代替案の提案・要請を行う。

・一般社団法人アクト・ビヨンド・トラスト

代表者： 星川 淳

所在地： 東京都文京区湯島 2-9-10-2F

事業内容：「自然環境と人間生活の調和を目的とした市民の主体的行動を支援する」という事業目的に沿って、(1)ネオニコチノイド系(浸透性)農薬のリスク低減、(2)脱原発・エネルギーシフト、(3)東アジア環境交流の3分野で公募助成および企画助成による問題解決型の支援と、市民活動促進のための環境醸成および触媒作用を図る自主企画を実施。

4. 社会的事業調査・研究・事業計画・提携事業(収益事業1)

4-1. 社会貢献型商品プロデュース

社会貢献消費市場における商品プロデュース業務を中心に事業(商品)提案を行う。

■実績

・2011年の東日本大震災の経験を風化させず、未来へ伝え残していくと共に、原子力が抱えている問題を考え続けるため、ものづくりを通じた復興支援を目的とした「喜望のランプ」プロジェクトを当年5月に始動。復興支援活動を行う団体と連携し、国内外からランプシェードのデザインを募集し、ランプと併せて福島県産の菜種油を販売し、毎月11日に被災地を想いランプを灯す文化を広げることを目指した。

しかしながら、プロジェクトリリース直後の当年4月に発生した熊本地震の支援活動への注力が求められる状況と、プロジェクトによる間接支援以上に今なお直接支援が求められているとの支援関係者からの意見を考慮し、当年8月に中止するに至った。

5. 社会企業家育成事業(収益事業2)

5-1. シンポジウム、セミナー、ワークショップの開催

社会的事業および企業の先進事例の紹介や社会的事業家同士の情報交換、経営・運営における諸問題に関する相談などを目的としたシンポジウム、セミナー、ワークショップを開催する。

■実績

収益を目的とせず、社会的事業者の育成、社会課題に対する啓蒙及び寄付者・参加者獲得やコミュニティ形成を目的とした取り組みを行った。

A. ソーシャルシネマ・ダイアログ

社会課題を扱った映画を上映後、その映画に関係する社会的課題についてのダイアログ（対話）を行うイベント。以下の通り、京都にて開催した。なお、ゲストはボランティア（交通費含む実費負担）での協力を得た。

■開催実績

日程	開催場所	上映映画・テーマ	ゲスト	参加者数
1 月 11 日 (月・祝)	京都	「北の国から～始まりと'87初恋～」 今"家族"を考える	林原博光 氏(NPO 法人 C・C 富良野自然塾 副塾長)	36 名

B. そもそも談義

世の中の様々な存在や事象について、「そもそもそれはどういうことだったのか」という視点で対話を行い、現在の社会課題の本質に迫るイベント。以下の通り京都にて3回、北九州市にて1回、計4回開催した。なお、スピーカーは全て熊野英介財団理事長が務めた。

■開催実績<京都>

日程	テーマ	参加者数
3 月 5 日(土)	そもそも家族とは	22 名
5 月 14 日(土)	そもそも自由と平等とは	20 名
8 月 6 日(土)	そもそもエネルギー・資源・食料とは	25 名

■開催実績<北九州市>

日程	テーマ	コーディネーター		参加者数
10 月 24 日(月)	そもそも談義番外編 「くるま座で語り合おう Kumano 座談義」	山口典浩 氏	社会企業大学・九州校 校長	19 名

C. 信託資本起業塾

昨年に引き続き、熊野英介財団理事長を塾長として、心の思いを形にする技術としての社会的事業を学ぶ企業家育成塾「A-KIND 塾(あかいんど塾)」第2期を開講した。社会人経験者及び、起業もしくは正規雇用経験がある学生を対象に、「KIND=親切な、優しい、思いやりのある、親切で、心からの」という目には見えない、耳には聞こえない価値を形にし、売り手よし・買い手よし・世間よし・未来よしという「四方よし」の持続可能な社会貢献を行うことで、企業の生存確率をあげ、利益を上げるための原資である信頼関係を増幅するという視点に立った講義を実施。ビジネスの原点である「人の心を掴み」拡大再生産を行うことを、講師・起業家同士で学び合う場を提供した。当年度以降、本塾卒業生を中心とした社会起業家コミュニティを形成していく。

■開催実績

- ・開催日： 4月27日(水),5月25日(水),6月22日(水),7月27日(水),8月24日(水),9月28日(木),10月26日(水),11月3日(木・祝),12月21日(火) 全9回
- ・受講者数： 20名
- ・成果： 4チームに分かれ、フリーマーケットにて「社会的行動動機による購買動機」を促す「ライフスタイル必需品」の提案・販売を行った。

D. 政策形成講座

行政職員を対象として、様々な社会課題を抱える日本の各地域において、市民の当事者意識を育み、市民が社会的事業を通して社会課題の解決に取り組みやすい環境を整備するための政策形成を学び合う場として、2年連続受講型の「未来設計実践塾」を開講した。

■開催実績

- ・開催日： 6月15日(水),7月20日(水),8月17日(水),9月21日(水),10月19日(水),11月16日(水),12月14日(水) 全7回
- ・受講者数： 9名
- ・成果： 受講者全員を1チームとして理想社会のモデルづくりに取り組み、発表を行った。

E. 社会的事業創出イベント

昨年に続き、自己と社会の欲求の重なりを発見し、仲間と共に社会的事業を創出のワークショップを計5回開催した。

■開催実績

- ・開催日： 1月21日(木),2月18日(木),3月17日(木),4月21日(木),6月16日(木)
- ・参加者数： 各回10~15名程度

F. 信託デイ

毎年1回、事業目的広報のために京都で実施していたが、当年からは、議論やプレゼンテーション、学びの場ではなく、目指す社会への行動指針を年毎に出し、ブラッシュアップしていく場と位置付け、開催した。その指針を出すため、財団関係者やこれまでの財団活動への参画者である組織・個人を対象とした招待形式で開催し、財団メンバーが考えを述べ合い、参加者と話し合いを深めるプログラムを実施。主体的に財団関係者が集う場として、これまで開催したイベントの中で最も熱意のある議論が行われ、参加者満足度の高い場が実現したと共に、財団活動を通して実現を望む未来について参加者全員から意見を募り、これを基に後日、活動ビジョンを作成した。なお、ゲストはボランティア(交通費含む実費負担)での協力を得た。

■開催実績

- ・開催日： 11 月 19 日(土)
- ・タイトル： 第 4 回信託デイ「創る自由が希望となる ～選択する不自由からの解放～」
- ・参加者数： 105 名
- ・参加者満足度(「とても興味深かった」もしくは「興味深かった」と回答した人の割合)： 96.7%

・プログラム：

【第 1 部-①】	「そもそも信託資本とは？ ～信用崩壊している社会を超えて～」
登壇者	スピーカー ・熊野 英介 氏(当財団理事長)
【第 1 部-②】	「誤作動する社会、これからの時代 ～信託資本財団メンバーによる大談義～」
登壇者	スピーカー ・高橋 陽子 氏(公益社団法人日本フィランソロピー協会理事長 / 当財団評議員) ・田中 優 氏(未来バンク理事長 / 当財団評議員) ・野村 彰男 氏(NPO法人青少年育成支援フォーラム理事長 / 国連グローバル・コンパクト・ジャパンネットワーク理事 / 当財団評議員) ・岡村 充泰 氏((株)ウエダ本社代表取締役 / 当財団理事) ・高 亜希 氏(NPO法人ノーベル代表理事 / 当財団理事) ・榎下 伸一郎 氏(榎下公認会計士事務所代表 / 公認会計士 / 税理士 / 経営学修士 / 当財団理事) ・木村 充里 氏(弁護士 / 当財団監事) ・佐伯 剛 氏((株)かぜたび舎代表取締役 / 風の旅人編集長 / 一般財団法人オレンジクロス理事 / 当財団シニアフェロー) ・鈴木 菜央 氏(NPO法人グリーンズ代表 / greenz.jp編集長 / 当財団シニアフェロー) ・土谷 貞雄 氏((株)貞雄代表 / HOUSE VISION企画担当 / 建築家 / 暮

	<p>らし研究者 / ウェブコミュニケーションコンサルタント / コラムニスト / 当財団シニアフェロー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮本 武 氏(けいはんな里山の会会長 / 当財団シニアフェロー) ・星川 淳 氏(一般社団法人アクト・ビヨンド・トラスト代表理事 / 当財団シニアフェロー) ・熊倉 聖子 氏(おおきなかぞく発起人 / 当財団フェロー) ・松榮 秀士 氏(PaKT 統括 / 勉強した先が見える塾マナビノバ塾長 / 当財団フェロー) <p>モデレーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・矢部 寛明 氏(アショカジャパン ユースベンチャー・リーダー / NPO法人底上げ代表理事 / 当財団フェロー) ・熊野 英介 氏(当財団理事長)
【第2部-①】	「理想を形に！ ～これからの市民社会～」
登壇者	<p>スピーカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深尾 昌峰 氏(公益財団法人京都地域創造基金理事長) ・熊野 英介 氏(当財団理事長)
【第2部-②】	「シンライノテーブル ～未来市民の民主主義～」
登壇者	<p>モデレーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可児 卓馬 氏(公益財団法人京都地域創造基金事務局長) ・西島 有紀(当財団事務局スタッフ)
【第3部】	「信頼衆 ～私たちが未来だ！～」
登壇者	<p>モデレーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・谷崎 テトラ 氏(構成作家 / 一般社団法人ワールドシフト / ネットワークジャパン代表理事 / 当財団シニアフェロー)

G. 協働イベント

社会的企業と連携して、社会的事業の魅力伝える学生向けイベントを開催。

従来の就職活動のような自己分析・企業分析・業界分析ではなく、独自のプログラムを用いた「社会分析」を通して未来社会を考え、社会人と共に社会的事業を考案するワークショップを実施することにより、社会的事業での仕事を模擬体験し、そのやりがい伝えることを目的とした。

共催企業の採用エントリー者数増加に貢献すると共に、社会的事業の本質的な魅力を伝えるプログラムとして、他の社会的企業にも提案可能な採用イベントとしてモデルを確立することが出来た。

■開催実績

- ・開催日： 2月14日(日)
- ・タイトル： 未来設計会議
- ・共催： アミタホールディングス株式会社
- ・参加者数： 16名
- ・委託金収益：200,000円

・プログラム：

【WORK 01】	社会分析
内容	「人口動態」「技術革新」「社会的価値」の3つの視点から人類の歴史と産業がどのように変遷してきたのかを学び、いま私たちが直面している課題の原因を徹底的に探る。そして現代の社会情勢が未来にどのような影響を与え、世界情勢・産業・人々の生活の常識がどのように変化するのか予測を立てる。
【WORK 02】	未来設計
内容	社会分析によって導いた未来予測を基に理想の未来を考える。そして理想の未来を叶えるための未来設計図を未来デザイン企業アミタグループの社員とともに描き、未来開拓を行う。
【WORK 03】	座談会
内容	アミタグループ社員から企業や地域の最前線の取り組み、世の中の動向を知る。また、これからの社会で求められる仕事はどのようなものなのか、今の時代からできることを仲間たちと模索する。

5-2.書籍販売

財団の取り組みや成果を書籍として販売することにより、より多くの人々に信頼に基づく知恵・知見の交換や、人的ネットワーク構築の仕組みを知らせるとともに、それが社会的事業の創出、活性化につながるという理解を促進することができる。

■実績

1.シンポジウム、セミナー、ワークショップの開催 に尽力し、本業務の実行には至らなかった。

6. 会員、寄付獲得事業

6-1. 会員制度

昨年度の会員制度「信頼衆」を廃止後、新たな参画方法として、**2-2. ウェブによる情報公開による知恵・知見の自己増殖**の一貫として、融資事業・助成事業及び信頼責任者に提供を求めた知恵・知見データを基盤とし、知恵・知見等の無形資産の交換を可能にするwebシステムを構築した。

来年度以降は、融資事業・助成事業及び信頼責任者に限らず一般にも登録者を募り、上記webシステムを当財団活動への新たな参加枠として、社会的事業に関心を持つ人々のネットワーク構築を目指す。

6-2. 寄付獲得

現事務所の町屋に併設されているコミュニティスペースで定期的開催されるプログラムに、共催として運営協力を行うことにより、プログラム参加者から「ありがとう本」プログラムを通じた寄付獲得に努めた。

■ 共催プログラム開催実績

【共催プログラム①】	活動内容	開催実績
ともいき京都 (主催団体:ともいき京都)	ともいきは、がんを体験した人々が周りのいのちと共に生き、環境との調和をめざしつつも、多様な考え方や生き方が尊重されるネットワーク(人間関係の広がり)創りを目指し、がんを体験した人が、自己の体験や思い、生き方について自由に語れる場を提供する。	1月～12月 毎月第2・第4金曜日 計24回
【共催プログラム②】	活動内容	開催実績
くらしの学び庵 中級コース (主催団体:京都大学こころの未来研究センター)	社会の中で『自分の力』を発揮し、いきがい、やりがい感を持てる場の創出＝「心の教育の場」を提供していくためのプログラムとして、老いや介護、健康や生活の知恵に興味がある方を対象に、様々な分野の講師を招いた講義や演習を実施しながら、知識のステップアップと周囲への関わり方、つながり力を創出する。	11月13日,11月27日,12月4日,12月18日,12月25日 各日曜日 計5回

Ⅲ. 管理部門

1. 業務執行体制

・2015年12月21日に開催した理事会での決定に基づき、北九州市を拠点とする「中国・九州支部」設立した。担当地域は九州地方7県(沖縄県を除く)および広島県・山口県として、来年度以降、本格的な活動を開始する。

・昨年に引き続き、現事務所に併設されているコミュニティスペース及び管理者であるアマタホールディングス株式会社のミュージアムの委託運営を請け負うことにより、市場よりもはるかに低い家賃設定で活動拠点を確保することが出来た。

・設立より7年が経過し、活動の実態に対する役員関係者の理解が深まったと判断されることから、定款第3章第1節第19条2における「評議員選定委員」の選任について、これまでの事務局員1名および外部委員2名の合計3名による構成から、評議員1名および外部委員2名の合計3名での構成に変更した。

また当年の評議員選定委員の改選に伴い、新たな評議員選定委員(評議員枠)として、吉久保誠一氏が就任した。

・昨年度に引き続き、webサイトや印刷物等を通じた広報活動の充実化をはかるため、1年間、デザイナーと業務委託契約を締結した。

以上

貸借対照表
2016年12月31日現在
公益財団法人信頼資本財団

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金			
現金	2,000,305	153,982	1,846,323
普通預金	1,897,442	7,199,607	-5,302,165
定期預金	33,106	32,047	1,059
現金預金合計	3,930,853	7,385,636	-3,454,783
その他の流動資産			0
短期貸付金	2,660,000	4,475,000	-1,815,000
立替金	0	100,000	-100,000
前払費用	0	97,604	-97,604
仮払金	0	78,837	-78,837
その他の流動資産合計	2,660,000	4,751,441	-2,091,441
流動資産合計	6,590,853	12,137,077	-5,546,224
2.固定資産			0
(1)基本財産			0
定期預金(設立金)	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(2)特定資産			0
貸付原資積立金	24,607,392	22,770,917	1,836,475
助成原資積立金	50,000,000	60,000,000	-10,000,000
長期貸付金	0	0	0
特定資産合計	74,607,392	82,770,917	-8,163,525
(3)その他固定資産			0
ソフトウェア	91,667	146,667	-55,000
什器備品	48,564	79,236	-30,672
敷金	50,000	50,000	0
出資金	50,000	50,000	0
その他固定資産合計	240,231	325,903	-85,672
固定資産合計	79,847,623	88,096,820	-8,249,197
資産合計	86,438,476	100,233,897	-13,795,421
II 負債の部			0
1.流動負債			0
未払法人税等	70,000	0	70,000
前受金	0	0	0
預り金	195,003	141,849	53,154
短期借入金	215,560	0	215,560
1年内返済予定長期借入金	1,992,000	1,992,000	0
仮受金	0	296,838	-296,838
流動負債合計	2,472,563	2,430,687	41,876
2.固定負債			0
長期借入金	1,700,000	3,692,000	-1,992,000
固定負債合計	1,700,000	3,692,000	-1,992,000
負債合計	4,172,563	6,122,687	-1,950,124
III 正味財産の部			0
【基金】			0
基金合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
【指定正味財産】			0
民間助成金	0	0	0
寄付金	44,167,046	101,372,458	-57,205,412
指定正味財産合計	107,006,059	101,372,458	5,633,601
(うち基本財産への充当額)	5,000,000	5,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	80,871,796	80,871,796	0
【一般正味財産】			0
一般正味財産合計	-24,740,146	-7,261,248	-17,478,898
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	82,265,913	94,111,210	-11,845,297
負債正味財産合計	86,438,476	100,233,897	-13,795,421

2016年度 正味財産増減計算書

2016/01/01~2016/12/31

公益財団法人信頼資本財団

(円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	0	1,961	-1,961
基本財産運用益合計	0	1,961	-1,961
特定資産運用益			0
特定資産運用益合計	0	0	0
受取入会金			0
受取入会金合計	0	0	0
受取会費	0	0	0
受取会費合計	0	0	0
事業収益		0	0
社会企業家育成事業収益	931,941	887,900	44,041
社会デザイン事業収益	1,731,780	3,535,281	-1,803,501
助成事業収益	0	0	0
事業収益合計	2,663,721	4,423,181	-1,759,460
受取補助金等	0	0	0
指定正味財産からの振替額	0	0	0
受取補助金等合計	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取負担金合計	0	0	0
受取寄付金		0	0
受取寄付金	0	0	0
指定正味財産からの振替額	139,953,511	121,798,731	18,154,780
受取寄付金合計	139,953,511	121,798,731	18,154,780
雑収益	0		0
受取利息	6,030	4,450	1,580
受取配当金	3,000	2,000	1,000
雑収益	0	0	0
手数料収入	3,240	0	3,240
雑収益合計	11,270	6,450	4,820
経常収益合計	142,628,502	126,230,323	16,398,179
(2)経常費用			0
事業費			0
給料手当	3,911,982	3,773,993	3,560,039
	0	14,875	-14,875
法定福利費	666,622	311,908	354,714
会議費	126,148	193,818	-67,670
交際費	42,355	0	42,355
旅費交通費	226,130	327,446	-101,316
新聞図書費	77,035	59,778	17,257
通信運搬費	189,433	246,963	-57,530
減価償却費	61,844	129,454	-67,610
助成事業原価	376,180	404,327	-28,147
消耗什器備品費		79,457	-79,457
消耗品費	332,572	711,432	-378,860
印刷製本費	1,061,515	576,927	484,588
賃借料	197,370	120,917	76,453
租税公課	3,528	74,995	-71,467
支払負担金			0
支払手数料	497,229	353,135	144,094
支払助成金	133,214,749	116,777,206	16,437,543

委託費	1,599,169	2,576,987	-977,818
事業費合計	142,583,861	126,733,618	15,850,243
管理費			0
給料手当	690,350	665,998	24,352
福利厚生費		2,625	-2,625
法定福利費	117,639	55,042	62,597
会議費	5,617	34,203	-28,586
交際費	6,330	614,487	-608,157
旅費交通費	39,905	45,640	-5,735
新聞図書費	284	2,948	-2,664
通信運搬費	33,429	43,582	-10,153
減価償却費	23,828	49,878	-26,050
		3,919	-3,919
消耗品費	58,689	35,408	23,281
支払寄付金	0	216,000	-216,000
印刷製本費	129,860	70,644	59,216
燃料費	0	4,133	-4,133
賃借料	34,830	8,683	26,147
支払負担金	30,620		
保険料	0	32,360	
租税公課	622	605	17
支払手数料	25,628	114,594	-88,966
委託費	282,206	2,515,873	-2,233,667
支払利息	64,212	92,747	-28,535
雑費		164,079	-164,079
管理費合計	1,544,049	4,773,448	-3,229,399
経常費用計	144,127,910	131,507,066	12,620,844
評価損益等調整前当期経常増減額	-1,499,408	(5,276,743)	3,777,335
評価損益等調整	0	(1,923,027)	1,923,027
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-1,499,408	(7,199,770)	5,700,362
2.経常外増減の部			0
(1)経常外収益	0	0	0
経常外収益合計	0	0	0
(2)経常外費用	0		0
法人税、住民税、事業税	140,000		
経常外費用計	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期経常外増減額	140,000	0	140,000
当期一般正味財産増減額	(1,639,408)	(7,199,770)	5,560,362
一般正味財産期首残高	(10,100,261)	(2,900,491)	-7,199,770
一般正味財産期末残高	-11,739,669	(10,100,261)	-1,639,408
Ⅱ 指定正味財産増減の部			0
受取補助金等	0		0
受取民間助成金	0		0
一般正味財産への振替額	0		0
受取補助金等計	0		0
受取寄付金			0
受取寄付金(共感助成)	129,747,632	187,341,945	-57,594,313
一般正味財産への振替額	-139,953,511	(121,798,731)	-18,154,780
当期指定正味財産増減額	-10,205,879	65,543,214	-75,749,093
指定正味財産期首残高	101,372,458	38,668,247	62,704,211
指定正味財産期末残高	91,166,579	104,211,461	-13,044,882
Ⅲ 基金増減の部			0
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
Ⅳ 正味財産期末残高	82,265,913	94,111,200	-11,845,287

2016年度 正味財産増減計算書 内訳表
2016/01/01~2016/12/31
公益財団法人信濃資本財団

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計				法人会計	内部取引消去	合 計
	融資事業	知恵・知見の蓄積事業	助成事業	公益共通	小 計	社会デザイン事業	社会企業家育成事業	収益共通	小 計			
I 一般正味財産増減の部												
1 経常増減の部												
(1) 経常収益												
基本財産運用益												
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産運用益合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用益												
特定資産運用益合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取入金												
受取入金合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取会費												
受取会費合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益												
社会企業家育成事業収益	0	0	0	0	0	0	931,941	0	931,941	0	0	931,941
社会デザイン事業収益	0	0	0	0	0	1,731,780	0	0	1,731,780	0	0	1,731,780
助成事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益合計	0	0	0	0	0	1,731,780	931,941	0	2,663,721	0	0	2,663,721
受取補助金等												
受取補助金等合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金												
受取負担金合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金												
受取寄付金合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産からの振替額	3,338,171	0	136,615,340	0	139,953,511	0	0	0	0	0	0	139,953,511
受取寄付金合計	3,338,171	0	136,615,340	0	139,953,511	0	0	0	0	0	0	139,953,511
雑収益												
受取利息	2,339	0	0	0	2,339	0	0	0	0	3,691	0	6,030
受取配当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,000	0	2,000
手数料収入	0	0	3,240	0	0	0	0	0	0	0	0	3,240
雑収益合計	2,339	0	3,240	0	5,579	0	0	0	0	5,691	0	11,270
経常収益合計	3,340,510	0	136,618,580	0	139,959,090	1,731,780	931,941	0	2,663,721	5,691	0	142,628,502
(2) 経常費用												
事業費												
給料手当	1,610,816	460,233	1,380,700	0	3,451,749	368,186	92,047	0	460,233	0	0	3,911,982
法定福利費	274,492	78,426	235,278	0	588,196	62,741	15,685	0	78,426	0	0	666,622
会議費	13,106	3,744	11,233	0	28,083	97,316	749	0	98,065	0	0	126,148
交際費	14,770	4,220	12,660	0	31,650	3,376	7,329	0	10,705	0	0	42,355
旅費交通費	93,112	26,604	79,810	0	199,526	21,283	5,321	0	26,604	0	0	226,130
新聞図書費	670	193	574	0	1,437	151	75,447	0	75,598	0	0	77,035
通信運搬費	78,002	22,286	66,859	0	167,147	17,829	4,457	0	22,286	0	0	189,433
減価償却費	12,765	18,933	25,893	0	57,591	3,213	1,040	0	4,253	0	0	61,844
助成事業原価			376,180	0	376,180			0	0	0	0	376,180
消耗品費	136,942	39,126	117,379	0	293,447	31,300	7,825	0	39,125	0	0	332,572
印刷製本費	303,801	86,970	259,720	0	650,491	69,100	341,924	0	411,024	0	0	1,061,515
賃借料	81,270	23,220	69,660	0	174,150	18,576	4,644	0	23,220	0	0	197,370
租税公課	1,453	415	1,245	0	3,113	332	83	0	415	0	0	3,528
支払手数料	1,029		150,970	0	151,999	0	200,000	0	200,000	0	0	351,999
支払手数料	59,801	17,085	51,258	0	128,144	13,669	3,417	0	17,086	0	0	145,230
支払助成金			133,214,749	0	133,214,749			0	0	0	0	133,214,749
委託費	658,481	188,138	564,412	0	1,411,031	150,510	37,628	0	188,138	0	0	1,599,169
事業費合計	3,340,510	969,593	136,618,580	0	140,928,683	857,582	797,596	0	1,655,178	0	0	142,583,861
管理費												
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	690,350	0	0	690,350
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0	117,639	0	0	117,639
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	5,617	0	0	5,617
交際費	0	0	0	0	0	0	0	0	6,330	0	0	6,330
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	39,905	0	0	39,905
新聞図書費	0	0	0	0	0	0	0	0	284	0	0	284
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	33,429	0	0	33,429
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	23,828	0	0	23,828
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	58,689	0	0	58,689
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	129,860	0	0	129,860
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	34,830	0	0	34,830
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	30,620	0	0	30,620
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	622	0	0	622
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	25,628	0	0	25,628
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	282,206	0	0	282,206
支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0	64,212	0	0	64,212
管理費合計	0	0	0	0	0	0	0	0	1,544,049	0	0	1,544,049
経常費用計	3,340,510	969,593	136,618,580	0	140,928,683	857,582	797,596	0	1,655,178	1,544,049	0	144,127,910
評価損益等調整前当期経常増減額	0	-969,593	0	0	-969,593	874,198	134,345	0	1,008,543	-1,538,358	0	-1,499,408
評価損益等調整												
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	-969,593	0	0	-969,593	874,198	134,345	0	1,008,543	-1,538,358	0	-1,499,408
2 経常外増減の部												
(1) 経常外収益												
経常外収益合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用												
法人税、住民税、事業税	17,220	840	2,380		20,440	109,060	9,380		118,440	1,120		140,000
経常外費用計	17,220	840	2,380	0	20,440	109,060	9,380	0	118,440	1,120	0	140,000
他会計振替額	0	0	0	1,008,543	1,008,543	0	0	-1,008,543	-1,008,543	0	0	-1,008,543
当期経常外増減額	17,220	840	2,380	1,008,543	988,103	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-17,220	-970,433	-2,380	1,008,543	18,510	765,138	124,965	-1,008,543	-118,440	-1,539,478	0	-1,639,408
一般正味財産期首残高	-6,324	-1,390,490	4,881,833	1,605,928	5,090,947	6,987,990	-2,776,186	-270,911	3,940,893	-19,132,101	0	-10,100,261
一般正味財産期末残高	-23,544	-2,360,923	4,879,453	2,614,471	5,109,457	7,753,128	-2,651,221	-1,279,454	3,822,453	-20,671,579	0	-11,739,669
II 指定正味財産増減の部												
受取補助金等												
受取補助金等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金(共感助成)	0	0	129,747,632		129,747,632	0	0	0	0	0	0	129,747,632
一般正味財産への振替額	-3,338,171	0	-136,615,340	0	-139,953,511	0	0	0	0	0	0	-139,953,511
当期指定正味財産増減額	-3,338,171	0	-136,615,340	0	-139,953,511	0	0	0	0	0	0	-139,953,511
指定正味財産期首残高	22,583,103	0	16,628,358	65,000,000	104,211,461	0	0	0	0	0	0	104,211,461
指定正味財産期末残高	19,244,932	0	9,760,650	65,000,000	94,005,582	0	0	0	0	0	0	94,005,582
III 基金増減の部												
当期基金増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基金期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基金期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IV 正味財産期末残高	19,221,388	-2,360,923	14,640,103	67,614,471	99,115,039	7,753,128	-2,651,221	-1,279,454	3,822,453	-20,671,579	0	82,265,913

財 産 目 録
平成 28 年 12 月 31 日 現在
公益財団法人信託資本

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金預金				
	現金	手元保管	運転資金として	2,000,305
	普通預金		運転資金として	1,897,442
	--三菱東京UFJ銀行			32,914
	--三井住友銀行			183,391
	--楽天銀行			114,147
	--ゆうちょ			662,788
	--京都信用金庫			904,202
	定期預金		運転資金として	33,106
	--三菱東京UFJ銀行			33,106
他の流動資産				
	短期貸付金		融資事業一定越返済予定 貸付金として	2,660,000
流動資産合計				6,590,853
(固定資産)				
基本財産				
	定期預金(設立金)		設立金として	5,000,000
	--指定			5,000,000
特定資産				
	貸付原資積立金		融資事業貸付原資として	24,607,392
	--指定・UFJ			24,607,392
	助成原資積立金		助成事業貸付原資として	50,000,000
	--指定・UFJ財団運営 管理基金			20,000,000
	--復興支援基金			10,000,000
	--助成積立金			10,000,000
	--智恵・知見活用促進基金			10,000,000
その他固定資産				
	ソフトウェア		webシステム維持管理費	240,231
	什器備品		パソコン購入費	91,667
	敷金		オフィスレンタル費用	48,564
	出資金		京都信用金庫出資金	50,000
固定資産合計				79,847,623
				86,438,476
(流動負債)				
	預り金			195,003
	--社会保険料		従業員給与の預かり保険料	147,635
	--源泉所得税		従業員給与の預かり源泉	47,368
	短期借入金		運転資金として	215,560
	未払法人税等			70,000
	1年内返済予定長期借 入金		運転資金として	1,992,000
	--京都信用金庫			1,992,000
流動負債合計				2,472,563
(固定負債)				
	長期借入金		運転資金として	1,700,000
	--京都信用金庫			1,700,000
固定負債合計				1,700,000
負債合計				4,172,563
正味財産合計				82,265,913

2017 年 公益財団法人信託資本財団 事業報告書

目次

I. 基本方針	2
---------	---

II 事業内容

1. 融資事業（公益目的事業1）	2-5
2. 知恵・知見の蓄積事業（公益目的事業2）	5-6
3. 助成事業（公益目的事業3）	6-12
4. 社会デザイン事業（収益事業1）	12
5. 社会企業家育成事業（収益事業2）	12-15
6. 寄付獲得事業	15

III. 管理部門

1. 業務執行体制	16
2. 広報体制	16-18

【添付資料】

添付資料1 2017年 正味財産増減表内訳

添付資料2 2017年 貸借対照表内訳

I. 基本方針

・2014 年以降、重点的に取り組んできた社会的事業家の育成とそのネットワーク化に継続して取り組み、社会的事業家が活躍し易い土壌作りに取り組んだ。

・当法人の設立目的である、信託資本制度充実を目的とした良好な人間関係や知恵のような目に見えない資産（無形資産）の創出や蓄積をと共に、信託資本制度充実のための相互扶助ネットワーク確立に取り組んだ。

・さらに、当年度の事業目標にならい、人が自らの喜びを動機として社会的行動ができるための支援活動として、寄付商品の開発、公共施設や運営するコミュニティスペース活用を通じた財団活動への主体的な参画者増加をはかり、社会的事業家とその応援者のプラットフォーム構築に取り組んだ。

II. 事業内容

1. 融資事業（公益目的事業1）

当財団設立目的から逸脱しない社会的事業家を発掘、育成していくための融資を引き続き実施した。また、応募段階にある事業家の相談にも積極的に応じることにより、融資有無に関わらず当財団設立目的から逸脱しない社会的事業家の育成を促進した。

1-1. 財団融資

■実績

※全融資先からの返済に関して、当年度内に貸倒等は発生しなかった。

融資実施件数： 40 件

融資実施団体数： 32 団体

融資実績額： 97,570,000 円

融資未返済額： 4,035,000 円

① 通常融資

【第17期募集】

・受付期間： 2017年2月1日（水）～ 2017年3月24日（金）

※郵送物〆切：3月31日（金）

- ・審査会日：2017年4月10日
- ・応募件数：2件
- ・一次（書類）審査合格件数：1件
 - ・一次（書類）審査合格件数：2件
 - ・当期実施件数：1件
 - └融資対象者：NPO法人 Silent Voice
 - 代表者名：尾中友哉
 - 所在地：大阪市西区南堀江4-28-6-601
 - 事業内容：2017年9月から谷町6丁目駅付近に放課後等デイサービスの事業所として、聴覚障害・難聴児専門の総合学習塾「DEAF ACADEMY（以下 DA）」を開設。DAでは、「きこえないからこそ伸ばせる力」を伸ばすことを目標とし、①視覚による能力開発②教科学習指導③夢を育てるワークショップを通じて、社会で活躍するリーダーを聴覚障害・難聴児から生み出すことを目的とする。
- 契約時期：2017年6月
- 返済額：3,000,000円
- 返済期間：24カ月

【第18期募集】

- ・受付期間：2017年8月1日（火）～2017年9月22日（金）
 - ※郵送物〆切：9月29日（金）
- ・審査会日：2017年10月26日（木）
- ・応募件数：3件
- ・一次（書類）審査合格件数：1件
- ・当期実施件数：0件

【前年度応募者への融資実行】

- ・合同会社 nimai-nitai
（融資額 1,000,000円／期間 2017年1月1日～2018年1月31日）
- ・一般社団法人くじら雲
（融資額 3,000,000円／期間 2017年2月3日～2019年1月31日）

【継続実施】

- ・認定NPO法人箕面こどもの森学園
（融資額 1,000,000円／期間 2016年3月31日～2017年2月28日）

② 国または地方公共団体ないしそれに準じる組織から直接補助金、助成金等の交付を受けるまでの資金のつなぎを目的とする融資（以下：つなぎ融資という）

【募集】 随時

- ・ 応募件数： 0 件
- ・ 新規実施件数： 0 件

【継続実施】

- ・ 特定非営利活動法人英田上山棚田団

（融資額 2,500,000 円／期間 2016 年 7 月 21 日～ 2017 年 5 月 31 日）

1-2. 金融機関との協働融資

融資は京都信用金庫から実施される。当財団は一次審査を行い、二次審査を京都信用金庫が行う。融資が決定した事業者は、京都信用金庫に利子を支払うが、当財団が利子相当額を当該事業者に助成することによって、当該事業者は、無利子・無担保で融資を受けることができる。

当年度は 1 件の応募があったが、審査は翌年度に持ち越しとなった。

【募集】 随時

- ・ 応募件数： 1 件
- ・ 審査合格件数： 0 件
- ・ 新規実施件数： 0 件

【継続実施団体】 2 件

↳ 助成対象者(継続):株式会社坂ノ途中

- ・ 助成期間： 2013 年 10 月 31 日～2018 年 10 月 20 日
- ・ 助成額： 23,122 円

(2016 年 12 月～2017 年 3 月、計 10 カ月の融資返済にかかる利子分を補填)

- ・ 実施日： 2017 年 4 月 31 日, 2017 年 10 月 31 日

↳ 助成対象者:NPO 法人エクスクラメーションスタイル

- ・ 助成期間： 2014 年 5 月 30 日～2024 年 4 月 30 日
- ・ 助成額： 0 円（未申請）

1-3. 事業相談会の実施

事業経営上の悩みや社会的な障壁に関するヒアリングを行うと共に、その解決を支援するため、融資ならびに共感助成実行中の事業者、融資・助成応募検討者を対象とした事業相談会を以下の通り開催した。

■実績

- ・日程： 2017年2月25日(土), 7月22日(土)
- ・申込件数： 各6件 (計12件)
- ・事業相談会経由の融資応募件数： 2件

2. 知恵・知見の蓄積事業（公益目的事業2）

2-1. 良質な知恵・知見および人的ネットワークの蓄積

融資・助成事業を通じて蓄積した社会的事業に関する知恵・知見といった無形資産を交換する相互扶助システムづくりに、昨年引き続き取り組んだ。

2-2. システムの構築

社会的事業や課題に関する解決策を求める事業者・個人と、これに対応する知恵・知見・技術を持つ事業者・個人を web 上で結び付けるシステム構築に向け、2014 年度より試験運用を開始しているシステムについては、機能の再検討が必要と判断されたために、一般公開を延期し、当年度は2-3. オフラインネットワークの活性化に注力した。

2-3. データの蓄積と整備

新規の融資事業・助成事業及び信頼責任者に知恵・知見の提供を求めると共に、この知恵・知見のデータの2-1. のシステムへの登録作業を行った。

データ登録者数（年度末時点）

①融資事業代表者・信頼責任者 登録数	63名
②助成登録数事業代表者・信頼責任者 登録数	193名
知恵・知見データ登録者数（①+②）	256名
上記のうち web システム登録者数	81名

2-4. オフラインネットワークの活性化

社会課題解決に向けた事業がより増幅していくため、助成金等に過度に依存せず相互扶助し合う実質的な社会的事業者同士でのネットワーク拡大に向けたオフラインの場として、「シンライノテーブル」を開催。社会的事業者参加者同士の協力関係および協力者を紹介し合う関係性を育むため、共感融資・共感助成代表者および A-KIND 塾受講生が、取り組みたい社会的事業（活動）や事業の悩みを話し合う場を設けた。

■実績

開催日：2017年9月6日(水),10月4日(水),11月8日(水),12月6日(水)

開催地域：東京都

参加人数：各回 8～12 名（当財団メンバー、融資先団体、助成先団体、A-KIND 塾〈5-2〉卒業生から各 2～3 名）

3. 助成事業（公益目的事業3）

寄付者が特定の事業やテーマを指定して寄付をし、その寄付金をもとに助成を行う、「事業指定助成」という形態の「共感助成」事業を昨年につき、実施した。

■実績

今期団体数：25 団体

累積団体数：46 団体

(円)

助成先団体	寄付金額	運営費	助成金額
特定非営利活動法人チームレスキュー	0	0	434
公益財団法人国際センター	0	0	0
特定非営利活動法人ユナイテッドアース	175,508	19,257	157,255
ソーシャルジャスティス基金	0	0	0
特定非営利活動法人オン・ザ・ロード	0	0	0
特定非営利活動法人母と子の虹の架け橋	2,405	672	766
NPO 法人底上げ	120,000	2,880	9,120
一般社団法人 KYOTOGRAPHIE	0	0	0
公益社団法人難民起業サポートファンド	0	0	0
国際環境 NGO FoE Japan	0	0	0
一般社団法人源流地域資源再生ネットワーク	0	0	0

構想日本	172,994	24,874	146,427
一般財団法人教育支援グローバル基金	12,202,948	618,464	11,649,052
一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター	6,447,215	326,664	6,121,226
特定非営利活動法人キッズドア	9,965,119	1,016,235	8,904,743
一般社団法人 Japan Treasure Summit	11,830,000	919,260	5,579,160
一般社団法人グリーンピース・ジャパン	30,012,600	1,001,470	29,016,334
一般社団法人アクト・ビヨンド・トラスト	71,000,000	1,000,000	70,000,000
特定非営利活動法人東京ソテリア	50,000	7,472	42,528
NPO 法人障害者サポートセンター	0	0	0
特定非営利活動法人 離島経済新聞社	10,000	1,830	8,170
一般社団法人こいのぼり	11,030,558	1,268,962	7,678,208
NPO 法人京都難病支援パッションネ	3981	818	3263
NPO 法人日本麻協会	0	0	0
一般社団法人 スマイルゲート	0	0	0
持続可能経済研究会	4212000	0	4859484
合計	157,235,328	6,208,858	144,176,170

※助成金交付は 3 ヶ月に 1 度の交付のため、寄付額・運営費の合計と助成金額に差額が生じる場合があります。

<各団体詳細>

- ・特定非営利活動法人チームレスキュー

代表者名： 小野 聡美

所在地： 愛知県瀬戸市市場町 13 番地

事業内容： 東日本大震災直後から宮城県七ヶ浜町を拠点に、復興支援活動を行う。

- ・公益財団法人民際センター

代表者名： 秋尾 晃正

所在地： 東京都新宿区山吹町 337 江戸川橋東誠ビル 5F

事業内容： 子どもたちの豊かな想像力と思考力を育むため、ラオスの子どもたちに図書セット（約 150 冊の本が入った木箱）を贈る事業を行う。

- ・特定非営利活動法人ユナイテッドアース協会

代表者名： 淵上 智信

所在地 : 兵庫県神戸市中央区東川崎町 1-7-4

事業内容 : 市民の共働によって、「心育まれる希望あふれる社会」を実現すべく、海外の貧困地域への自立支援活動や環境保護活動など、様々な社会問題への取り組みを行う。

・ソーシャルジャスティス基金

代表者名 : 上村 英明

所在地 : 新宿区歌舞伎町 2-19-13 ASK ビル 5F

事業内容 : 公正な社会の実現にむけ市民の提案活動を助成、社会対話の場を創る市民ファンドの運営。

・特定非営利活動法人オン・ザ・ロード

代表者名 : 高橋 歩

所在地 : 東京都世田谷区北沢 2-33-5 下北沢 TKS ビル 3階

事業内容 : インド、ウッタルプラデーシュ州のラームナガルという町で、フリースクール（無料で通える学校）「マザーベイビースクール」を運営。

・特定非営利活動法人母と子の虹の架け橋

代表者名 : 若菜 多摩英

所在地 : 岩手県花巻市田力第 9 地割 24 番地

事業内容 : 寄り添い型の相談で、個々人に合った支援計画の下、ママの自律・自立を支援する。また、“サロン”を運営し、ママの自己肯定感・自尊感情を体験的に獲得する場とする活動を行う。

・特定非営利活動法人底上げ

代表者名 : 矢部 寛明

所在地 : 宮城県気仙沼市南が丘 2-2-12

事業内容 : 気仙沼市・南三陸町の高校生が地域課題に対し主体的に活動できる持続可能な環境の構築を行う。

・一般社団法人 KYOTOGRAPHIE

代表者名 : 仲西 祐介

所在地 : 京都府京都市北区鞍馬口通西入ル新御霊口町 270

事業内容 : 日本の古都・京都を舞台に、伝統文化と現代アートの融合を図る国際写真フェスティバル。いまだ評価の遅れている写真芸術の理解に一石を投じるべく、国内外の写真家および写真作品を世界的な視点で選出し、京都市内のギャラリーやカフェなど約 50 カ所にて紹介に努める。

・公益社団法人難民起業サポートファンド

代表者名： 吉山 昌

所在地： 東京都新宿区四谷 1-7-10 第三鹿倉ビル 6階

事業内容： “難民起業家”をマイクロファイナンスと経営支援で支えている。この活動により難民個人や難民コミュニティの状況改善を実現する。

・国際環境 NGO FoE Japan

代表者名： 三柴 淳一

所在地： 東京都板橋区小茂根 1-21-9

事業内容： 地球規模での環境問題に取り組む活動を行う。

・一般社団法人源流地域資源再生ネットワーク

代表者名： 池田 徹

所在地： 新潟県十日町市四日町 1426 の 6

事業内容： 日本の源流地域に息づく自然、歴史、文化、伝統、技、英知等の「たからもの」の再発見と地球環境と折り合いを付けながらも質の高いライフスタイルを探求し、信頼で繋がる未来社会を創生するための事業を行う。

・構想日本

代表者名： 加藤 秀樹

所在地： 東京都千代田区平河町 2-9-2 エスパリエ平河町 3F

事業内容： 政策研究で終わりではなく、議員、行政職員、企業経営者、研究者など、様々な世界で活動している人たちと連携して、その経験や問題意識を政策にして、知恵を結集して政策を実現する活動を行う。

・一般財団法人教育支援グローバル基金

代表者名： 藤沢 久美

所在地： 東京都渋谷区神南 1-5-7 ETIC.内

事業内容： 東日本大震災で被災した若者がグローバルに活躍するリーダーへと成長することを支援することを目的とした事業として、包括的なリーダーシップ支援事業を実施。

・一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター

代表者名： 山本 隆

所在地： 東京都新宿区高田馬場 3-13-1-B1

事業内容： 国内外で起こる災害に対し、スタッフ・ボランティアを現場へ派遣し、素早くかつ大規模に被災者支援を行う。活動内容は、支援物資の配布、炊き

出し、泥かきなどの清掃作業、避難所・仮設住宅居住者へのサポートなど、行政による公助では十分な対応が追いつかないものを中心。

・特定非営利活動法人キッズドア

代表者名： 渡辺 由美子

所在地： 東京都中央区新川 2-1-11 八重洲パークビル 7 階

事業内容： 親の収入によって教育機会を奪われてしまいがちな子ども達へ無料の学習支援を中心に、すべての子どもが夢と希望のもてる社会の実現に向け「子どもの貧困」および「教育格差」を解決するための活動を行う。

・一般社団法人 Japan Treasure Summit

代表者名： 小宮山 宏

所在地： 東京都渋谷区南平台町 6-4-201

事業内容： 学術芸術のすばらしさ伝え、寄附により学術芸術を支える文化の醸成について考える機会を提供するサロン活動を行う。また、人材育成として学術芸術活動のためのファンドレイザー育成プログラムを展開。

・一般社団法人グリーンピース・ジャパン

代表者名： 細川 弘明

所在地： 東京都新宿区西新宿 81-13-11 NF ビル 2F

事業内容： 地球規模の環境破壊を止めることを目的に、環境破壊の現場調査、科学的な分析結果に基づくレポートや代替案の作成、メディア等への情報提供、国連「総合協議資格」を利用した国際会議での働きかけや交渉過程の監視、政府・企業への代替案の提案・要請を行う。

・一般社団法人アクト・ビヨンド・トラスト

代表者名： 星川 淳

所在地： 東京都文京区湯島 2-9-10-2F

事業内容： 「自然環境と人間生活の調和を目的とした市民の主体的行動を支援する」という事業目的に沿って、(1)ネオニコチノイド系（浸透性）農薬のリスク低減、(2)脱原発・エネルギーシフト、(3)東アジア環境交流の3分野で公募助成および企画助成による問題解決型の支援と、市民活動促進のための環境醸成および触媒作用を図る自主企画を実施。

・特定非営利活動法人東京ソテリア

代表者名：

所在地 : 東京都江戸川区松島 4-46-2

事業内容 : 地域精神保健福祉の在り方の検討が進むなか、当事者（精神障害者）と家族のニーズを知ることは重要な課題となっている。イタリア・ポローニャ県からの招聘を受け、日本からこの課題に対する取り組みを伝える企画をおこない、望ましい精神保健について話し合い、当事者主体の地域精神保健を推進することを目的としている。

・ NPO 法人障害者サポートセンター

代表者名 : 安齋英郎

所在地 : 東京都町田市小山町 4 0 4 7 - 1

事業内容 : 障害者、その家族、高齢者のサポート、困りごとの相談会、セミナー、レクリエーション、スポーツイベント、障害者参加型の海洋レジャー、マリンスポーツの普及とその支援、訪問事業、送迎事業、付添事業、青少年育成、地域振興等、平和教育等。

・ 特定非営利活動法人 離島経済新聞社

代表者名 : 大久保 昌宏

所在地 : 東京都世田谷区三軒茶屋 2-49-6

事業内容 : 日本で「本土」と定められる 5 島以外の約 400 島の「有人離島」の情報を集め、伝え、支える活動を行っている。

・ 一般社団法人こいのぼり

代表者名 : 菅沼 正司

所在地 : 愛知県豊田市渋谷町 1-1-1 6

事業内容 : 当事業は、有効な治療法が存在しない難病「ミトコンドリア病」の社会的創薬プロジェクトである、「7 SEAS PROJECT (7 SP)」を支援する事業。

・ NPO 法人京都難病支援パッションエ

代表者名 : 上野山 裕久

所在地 : 京都府右京区嵯峨天龍寺角倉町 7-13

事業内容 : 主に難病を持っていて障害者手帳を取得できない者の、社会的・経済的自立を目指して就労支援を行っている団体。

・ NPO 法人日本麻協会

代表者名 : 横山 史佳

所在地 : 大阪府堺市西区家原寺町 1-19-4

事業内容 : 多様な使い方でできる麻素材を多くの方に生活の中に取り入れてもらう、

麻産業の活性化 ・ 麻地球市：衣食住、麻製品の出店

・ 一般社団法人 スマイルゲート

代表者名： 清水 英明

所在地： 大阪府枚方市町楠葉 1-3-9

事業内容： 衰退傾向にある日本の「1 次産業」に、障がい者が新たな担い手となり「次世代産業化」を目指す。京都府南丹市において有限会社京都丹波牧場と提携し、農地の借用と畜産から出る「堆肥」を無償譲渡いただき、産廃である堆肥を発酵させ無添加の「超肥料」として生産し、牧場敷地内に無農薬野菜畑を展開。牧場の牛肉と栽培したオーガニック野菜を用いて加工品として販売、また飲食店を展開する。

4. 社会デザイン事業（収益事業1）

社会的企業へのアドバイザー事業として、社会的企業を対象に年契約を締結し、商品コンセプトや事業戦略へのアドバイス、組織体制づくりの支援を行った。

■実績

契約社数： 1 件

売上額： 1,000,000 円

5. 社会企業家育成事業（収益事業2）

社会的事業家育成や、社会的事業を通して創出する社会について議論し、解決策を見出していく場を企画・運営することにより、当財団の設立理念を具現化するために欠かせない共感し合う人的ネットワークの拡大に取り組んだ。

5-1. 未来設計実践塾

行政職員を対象として、様々な社会課題を抱える日本の各地域において、市民の当事者意識を育み、市民が社会的事業を通して社会課題の解決に取り組みやすい環境を整備するための政策形成を学び合う場として、2 年連続の育成塾。昨年につき、第 1 期 2 年目のカリキュラムを実施した。

■開催実績

・ 開催日： 6/21(水), 7/19(水), 8/16(水), 9/20(水), 10/18(水), 11/15(水), 12/20(水)
全 7 回

・ 受講者数： 6 名

・ 成果： 受講者全員を 1 チームとして「未来志向の行政職員の行動規範」を作成、発表を行った。

5-2. A-KIND 塾

熊野英介財団理事長を塾長とする、思いを形にする技術としての社会的事業を学ぶ企業家育成塾。社会人経験者及び、起業もしくは正規雇用経験がある学生を対象に、「KIND=親切的な、優しい、思いやりのある、親切で、心からの」という目には見えない、耳には聞こえない価値を形にし、売り手よし・買い手よし・世間よし・未来よしという「四方よし」の持続可能な社会貢献を行うことで、企業の生存確率をあげ、利益を上げるための原資である信頼関係を増幅するという視点に立った講義を実施。ビジネスの原点である「人の心を掴み」拡大再生産を行うことを、講師・起業家同士で学び合う。昨年に引き続き、第3期を開講した。

本塾生によるコミュニティは当年度で約 60 名となり、毎月自主的な対話・勉強会が開催されている。

■開催実績

- ・開催日：4/26(水), 5/24(水), 6/28(水), 7/26(水), 8/23(水), 9/27(水), 10/25(水), 11/12(日), 11/22(水), 12/20(水) 全10回
- ・受講者数： 20名
- ・成果： 4チームに分かれて、フリーマーケットにて「社会的行動動機による購買動機」を促す「ライフスタイル必需品」の提案・販売を行った。

5-3. 信頼デイ

主に西日本エリアの融資・助成先団体とその支援者を対象として、当財団として目指す社会への行動指針を見出すべく、関係者が信託資本社会について見つめなおすと共に、互いに深く知り合い、つながりを深めるプログラム（招待形式）を開催した。なお、ゲストはボランティア（交通費含む実費負担）での協力を得た。

■開催実績

- ・開催日： 2017年11月11日(土)
 - ・タイトル： 第5回信頼デイ 「未来の資本システム、始まる」
 - ・開催形式： 招待制
 - ・参加者数： 71名
 - ・参加者満足度： 88%
- （「とても興味深かった」もしくは「興味深かった」と回答した人の割合）

・プログラム：

【第1部】	「信託資本社会とは？ -ブロックチェーンを切り口に-」
登壇者	プレゼンター ・松田 一敬 氏 ((株) SARR 代表執行社員 / ソラミツ株式会社 会長)

	<ul style="list-style-type: none"> ・熊野 英介 (当財団理事長) モデレーター ・土谷 貞雄 氏 ((株)貞雄代表 / HOUSE VISION企画担当 / 建築家 / 暮らし研究家 / ウェブコミュニケーションコンサルタント / コラムニスト / 当財団シニアフェロー)
【第2部】	「信託資本社会の実践者たち」
登壇者	<p>スピーカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光岡 大介 氏 (ファームアンドカンパニー株式会社代表:当財団融資先) ・廣中 桃子 氏 (合同会社 nimai-nitai代表:当財団融資先) ・尾中 友哉 氏 (NPO法人 Silent Voice代表:当財団融資先) ・守安 あゆみ 氏 (NPO法人 箕面こどもの森学園副代表:当財団融資先) ・鮫島 さやか 氏 (一般社団法人KYOTOGRAPHIE代表代理:当財団助成先)
【第3部】	「信託資本アソシエーションへ」
登壇者	<p>モデレーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・谷崎 テトラ 氏 (構成作家 / ワールドシフトネットワークジャパン代表理事 / 当財団シニアフェロー)
【第4部】	「信託資本アソシエーションダイアログ」

5-4. 東京ギャザリング

主に東日本エリアの融資・助成先団体とその支援者を対象として、当財団として目指す社会への行動指針を見出すべく、関係者が信託資本社会について見つめなおすと共に、互いに深く知り合い、つながりを深めるプログラム（招待形式）を開催した。なお、ゲストはボランティア（交通費含む実費負担）での協力を得た。

■開催実績

- ・開催日 : 2017年6月17日(土)
- ・タイトル: 第2回 信託資本東京ギャザリング『過労死する資本主義、格闘する社会的事業者 -希望は人の心にある-』
- ・開催形式: 招待制
- ・参加者数: 56名
- ・プログラム:

【第1部】	「過労死する資本主義、信託資本財団の役割」
登壇者	スピーカー

	・熊野 英介 氏（当財団理事長）
【第2部】	「格闘する社会的事業家」
登壇者	<p>モデレーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土谷 貞雄 氏（(株)貞雄代表 / HOUSE VISION企画担当 / 建築家 / 暮らし研究家 / ウェブコミュニケーションコンサルタント / コラムニスト / 当財団シニアフェロー） <p>スピーカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石田 和之 氏（一般社団法人働くしあわせプロジェクト代表理事：当財団融資先） ・江崎 礼子 氏（株式会社ソノリテ代表：当財団融資先） ・宮内 孝輔 氏（株式会社Micro Nations代表取締役：当財団融資先） ・石川 麻由 氏（株式会社ウィルモア代表：当財団融資先） ・矢部 寛明 氏（NPO法人底上げ 代表理事：当財団助成先 / 当財団フェロー） ・深草 亜悠美 氏（国際環境NGO FoE Japanスタッフ：当財団助成先） ・米田 祐子氏（国際環境NGOグリーンピース・ジャパン事務局長：当財団助成先）
【第3部】	「格闘してきた先輩社会的事業家」
登壇者	<p>スピーカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海津 歩 氏（ヤマトボックスチャーター株式会社 業務改革担当部長 / 当財団評議員）
【第4部】	グループワーキング「格闘する社会的事業家の葛藤と、そこから見えたもの」

6. 寄付獲得事業

現事務所の町屋に併設されているコミュニティスペースで定期的開催されるプログラムに、共催として運営協力を行うことにより、プログラム参加者から「ありがと本」プログラムを通じた寄付獲得に努めた。

■ 共催プログラム実績

- ・名称：ともいき京都
- ・主催団体：ともいき京都
- ・活動内容：がんを体験した人々が周りのいのちと共に生き、環境との調和をめざしつつも、多様な考え方や生き方が尊重されるネットワーク（人間関係の広がり）創りを目指し、がんを体験した人が、自己の体験や思い、生き方について自

由に語れる場を提供する。

- ・開催実績：1月～12月（毎月第2・第4金曜日） 計24回
- ・寄付内容：「ありがと本」の寄付、および物品（上記の町屋運営に要する備品）の寄付を得た。

Ⅲ. 管理部門

1. 業務執行体制

1-1. インターン生の受入

現在の職員同様インターン生から職員になる者、また、社会的事業家、その支援者になっていくような人材の育成を目的として、関西圏域から最大4名のインターン生の受け入れを行った。また、大阪成蹊大学芸術学部の夏期インターンシップ・プログラムに提携登録を行い、上記4名のうち1名の学生の受け入れに繋がった。

1-2. コミュニティスペース運営

当財団オフィスがある建物「風伝館」内の無料貸出コミュニティスペース運営の受託を昨年引き続き行うことにより、当財団の広報活動を行った。

1-3. 中国・九州支部の運営

昨年度に引き続き、中国・九州地方からの融資応募に対しては、現地面談および審査会実施について、上記支部が対応する形態を取った。

2. 広報体制

2-1. SNS・メールマガジンでの発信

当財団メールマガジン（発行頻度：月1回）およびSNS（Facebook・Twitter）にて、当財団および融資・助成先の活動に関する定期的な発信を通して、各活動の参画者・支援者の増加をはかった。

■実績

【財団メールマガジン購読者数】1900 件（年度末時点）

【Facebook ページ いいね！数】1726 件（年度末時点）

2-2. メディアサイト作成に向けたインタビューの実施

事業進捗のヒアリングと共に、インタビューの Web（メディアサイト）上での記事・動画公開により共感の種となる事業への想いの可視化に向けて、共感融資・共感助成代表者および財団メンバーを対象に、社会的事業（活動）の経験についてのインタビューを実施した。

■開催実績

実施期間： 2017 年 5 月～11 月

対 象： 当財団融資先代表者 8 名、助成先代表者 3 名、当財団役員 1 名

実施人数： 計 12 名

2-3. 支部における広報活動

「中国・九州支部」において、当財団融資事業の活動広報を以下の通り行った。

■開催実績

日 程： 5月15日(月)

名 称： 【中国・九州支部設立記念】共感融資制度・説明会

参加人数： 23名

2-4. 「HOSP(ホस्प)月間」の開催

2017 年 11 月 11 日から 12 月 10 日にかけての 1 カ月間を「HOSP (HOSP:Hopeful and Sustainable Society Projects -次代に希望をつなぎ続けられる持続可能社会へのプロジェクト)月間」と新たに設定し、賛同団体を募り、京都各地で啓蒙のための勉強会等 23 件の企画を実施した。これを通して、目指す社会デザインについて広範に周知を行った。

■開催実績

日程	名称	主催
11 月 11 日(土)	「第 5 回信頼デー-未来の資本システム、始まる-」	当財団
11 月 12 日(日)	「A-KIND 塾卒塾制作発表」	当財団

11月17日(金)	「そもそも談義-これからの価値-」	当財団
11月20日(月)	「そもそも談義-人間とは?-」	当財団
11月21日(火)	「可視化の学び舎」	個人
11月25日(土)	「心技体を学ぶ親子スポーツ教室」	親子スポーツ教室
11月26日(日)	「未来の育みの学び舎」	ガイアグループ
11月26日(日)	「Patagonia Snow Film Tour in Japan」	Patagonia
11月28日(火)	「WORK LIFE Cafe 」	株式会社ウエダ本社 /NPO 法人場とつながり ラボ home's vi
11月28日(火)	「わくわく京の公共人材」	京都三条ラジオカフェ
11月29日(水)	「現代中国から学ぶ」	PaKT/一般財団法人国 際人材教育基金/ユニ バーサルピース株式会社
11月29日(水)	「森を見る力」	個人 (連名)
11月30日(木)	「未来を育てる応援団」	NPO 法人ホッピング
12月1日(金)	「そもそも談義 -進化とは -」	当財団
12月2日(土)	「底上げが目指す未来」	当財団
12月4日(月)	「311以降の日本とこれからの日本」ダイア ログ	(株) ヒューマンフ ォーラム mumokuteki
12月7日(木)	「ダイバーシティセミナー」	株式会社ウエダ本社
12月8日(金)	「ともいき京都」	ともいき京都
12月8日(金)	「遊から始まる文化」	NPO 法人 遊プロジェク ト京都
12月9日(土)	「核と鎮魂」	当財団
12月9日(土)	「海ごみ問題から考える私たちの暮らしとプ ラスチック」	京都市ごみ減量推進会 議
12月10日(日)	「希望の探求」	地球未来シンポジウム 実行委員会

以上

貸借対照表
平成 29 年 12 月 31 日 現在

(円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金			
現金	3,557,158	2,000,305	1,556,853
普通預金	3,141,413	1,897,442	1,243,971
定期預金	35,070	33,106	1,964
現金預金合計	6,733,641	3,930,853	2,802,788
他の流動資産			
短期貸付金	0	2,660,000	△ 2,660,000
他の流動資産合計	0	2,660,000	△ 2,660,000
流動資産合計	6,733,641	6,590,853	142,788
2.固定資産			
(1)基本財産			
定期預金(設立金)	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(2)特定資産			
貸付原資積立金	23,299,000	24,607,392	△ 1,308,392
助成原資積立金	9,430,559	0	9,430,559
長期貸付金	3,951,000	0	3,951,000
財団運営管理積立金	10,000,000	20,000,000	△ 10,000,000
復興支援積立金	10,000,000	10,000,000	0
助成積立金	10,000,000	10,000,000	0
知恵・知見促進活用積立金	10,000,000	10,000,000	0
特定資産合計	76,680,559	74,607,392	2,073,167
(3)その他固定資産			
ソフトウェア	36,667	91,667	△ 55,000
什器備品	24,282	48,564	△ 24,282
敷金	50,000	50,000	0
出資金	50,000	50,000	0
その他固定資産合計	160,949	240,231	△ 79,282
固定資産合計	81,841,508	79,847,623	1,993,885
資産合計	88,575,149	86,438,476	2,136,673
II 負債の部			
1.流動負債			
預り金	127,158	195,003	△ 67,845
短期借入金	334,560	215,560	119,000
1年内返済予定長期借入金	1,866,000	1,992,000	△ 126,000
未払法人税等	0	70,000	△ 70,000
流動負債合計	2,327,718	2,472,563	△ 144,845
2.固定負債			
長期借入金	0	1,700,000	△ 1,700,000
固定負債合計	0	1,700,000	△ 1,700,000
負債合計	2,327,718	4,172,563	△ 1,844,845
III 正味財産の部			
【基金】			
基金合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
【指定正味財産】			
寄付金	101,546,193	107,006,059	△ 5,459,866
指定正味財産合計	101,546,193	107,006,059	△ 5,459,866
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(76,680,559)	(80,871,796)	△ 4,191,237
【一般正味財産】			
一般正味財産合計	△ 15,298,762	△ 24,740,146	9,441,384
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
正味財産合計	86,247,431	82,265,913	3,981,518
負債正味財産合計	88,575,149	86,438,476	2,136,673

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当なし
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当なし
- (3) 固定資産の減価償却の方法
什器備品・・・定率法
ソフトウェア・・・定額法
- (4) 引当金の計上基準
該当なし
- (5) 消費税等の会計処理
税込処理

2. 会計方針の変更

該当なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本残高				
定期預金	5,000,000	—	—	5,000,000
小 計	5,000,000	—	—	5,000,000
特定資産				
貸付原資積立金	24,607,392	5,705,229	7,013,621	23,299,000
助成原資積立金	0	162,431,267	153,000,708	9,430,559
長期貸付金	0	3,955,000	4,000	3,951,000
財団運営管理積立金	20,000,000	—	10,000,000	10,000,000
復興支援基金	10,000,000	—	—	10,000,000
助成積立金	10,000,000	—	—	10,000,000
知恵知見活用促進積立金	10,000,000	—	—	10,000,000
小 計	74,607,392	172,091,496	170,018,329	76,680,559
合 計	79,607,392	172,091,496	170,018,329	81,680,559

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	5,000,000	(5,000,000)	(ー)	(ー)
小計	5,000,000	(5,000,000)	(ー)	(ー)
特定資産				
貸付原資積立金	23,299,000	(23,299,000)	(ー)	(ー)
助成原資積立金	9,430,559	(9,430,559)	(ー)	(ー)
長期貸付金	3,951,000	(3,951,000)	(ー)	(ー)
財団運営管理積立金	10,000,000	(10,000,000)	(ー)	(ー)
復興支援基金	10,000,000	(10,000,000)	(ー)	(ー)
助成積立金	10,000,000	(10,000,000)	(ー)	(ー)
知恵知見活用促進積立金	10,000,000	(10,000,000)	(ー)	(ー)
小計	76,680,559	(76,680,559)	(ー)	(ー)
合計	81,680,559	(81,680,559)	(ー)	(ー)

5. 担保に供している資産

該当なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品			
パソコン	122,688	98,406	24,282
小計	122,688	98,406	24,282
ソフトウェア			
Bokincyan データベース	275,000	238,333	36,667
小計	275,000	238,333	36,667
合計	397,688	336,739	60,949

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
該当なし

8. 保証債務等
該当なし

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
該当なし

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	149,746,935
受取寄附金	144,176,070
助成事業収益	5,570,865
経常外収益への振替額	0
	149,746,935

13. 重要な後発事項
該当なし

14. その他
該当なし

正味財産増減計算書

平成 29 年 1 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日まで

(円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益			
基本財産運用益合計	0	0	0
特定資産運用益			
特定資産運用益合計	0	0	0
受取入会金			
受取入会金合計	0	0	0
受取会費			
受取会費合計	0	0	0
事業収益			
社会企業家育成事業収益	752,759	931,941	179,182
社会デザイン事業収益	1,756,318	1,731,780	△ 24,538
助成事業収益	6,261,838	0	△ 6,261,838
事業収益合計	8,770,915	2,663,721	△ 6,107,194
受取補助金等			
受取補助金等合計	0	0	0
受取負担金			
受取負担金合計	0	0	0
受取寄付金			
受取寄付金	251,689	0	△ 251,689
指定正味財産からの振替額	144,176,070	139,953,511	△ 4,222,559
受取寄付金合計	144,427,759	139,953,511	△ 4,474,248
雑収益			
受取利息	2,703	6,030	3,327
受取配当金	2,000	2,000	0
手数料収入	0	3,240	3,240
雑収益合計	4,703	11,270	6,567
経常収益合計	153,203,377	142,628,502	△ 10,574,875
(2)経常費用			
事業費			
給料手当	3,968,706	3,911,982	△ 56,724
法定福利費	558,036	666,622	108,586
旅費交通費	544,295	226,130	△ 318,165
新聞図書費	57,603	77,035	19,432
通信運搬費	192,091	189,433	△ 2,658
助成事業原価	690,973	376,180	△ 314,793
減価償却費	67,390	61,844	△ 5,546
消耗品費	226,684	332,572	105,888
印刷製本費	483,829	1,061,515	577,686
会議費	0	126,148	126,148
交際費	0	42,355	42,355
賃借料	295,100	197,370	△ 97,730
諸謝金	132,252	0	△ 132,252
租税公課	8,458	3,528	△ 4,930
支払負担金	97,505	145,230	47,725
支払手数料	443,370	351,999	△ 91,371
支払助成金	144,207,194	133,214,749	△ 10,992,445
委託費	2,144,879	1,599,169	△ 545,710
雑費	115,398	0	△ 115,398
事業費合計	154,233,763	142,583,861	△ 11,649,902
管理費			
給料手当	1,300,359	690,350	△ 610,009
法定福利費	98,478	117,639	19,161
会議費	150,150	5,617	△ 144,533
交際費	182,024	6,330	△ 175,694
旅費交通費	53,778	39,905	△ 13,873
新聞図書費	0	284	284
通信運搬費	33,898	33,429	△ 469
減価償却費	11,892	23,828	11,936

正味財産増減計算書

平成 29 年 1 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日まで

(円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
消耗品費	109,512	58,689	△ 50,823
修繕費	26,352	0	△ 26,352
印刷製本費	85,382	129,860	44,478
賃借料	19,440	34,830	15,390
租税公課	1,492	622	△ 870
支払負担金	0	30,620	30,620
支払手数料	25,379	25,628	249
委託費	376,222	282,206	△ 94,016
支払利息	34,868	64,212	29,344
雑費	19,481	0	△ 19,481
管理費合計	2,528,707	1,544,049	△ 984,658
経常費用計	156,762,470	144,127,910	△ 12,634,560
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,559,093	△ 1,499,408	2,059,685
評価損益等調整			
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,559,093	△ 1,499,408	2,059,685
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益合計	0	0	0
(2) 経常外費用			
法人税、住民税及び事業税	0	140,000	140,000
経常外費用計	0	140,000	140,000
当期経常外増減額	0	△ 140,000	△ 140,000
当期一般正味財産増減額	△ 3,559,093	△ 1,639,408	1,919,685
一般正味財産期首残高	△ 11,739,669	△ 10,100,261	1,639,408
一般正味財産期末残高	△ 15,298,762	△ 11,739,669	3,559,093
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取補助金等計	0	0	0
受取寄付金(共感助成)	157,287,546	129,747,632	△ 27,539,914
一般正味財産への振替額	△ 149,746,935	△ 139,953,511	9,793,424
当期指定正味財産増減額	7,540,611	△ 10,205,879	△ 17,746,490
指定正味財産期首残高	94,005,582	104,211,461	10,205,879
指定正味財産期末残高	101,546,193	94,005,582	△ 7,540,611
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	86,247,431	82,265,913	△ 3,981,518

正味財産増減計算書内訳表
平成 29 年 1 月 1 日 から平成 29 年 12 月 31 日 まで

(円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計				法人会計	内部取引消去	合 計
	融資事業	知恵・知見の蓄積事業	助成事業	公益共通	小 計	社会デザイン事業	社会企業家育成事業	収益共通	小 計			
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
基本財産運用益												
基本財産運用益合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用益												
特定資産運用益合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取入会金												
受取入会金合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取会費												
受取会費合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益												
社会企業家育成事業収益	0	0	0	0	0	0	752,759	0	752,759	0	0	752,759
社会デザイン事業収益	0	0	0	0	0	1,756,318	0	0	1,756,318	0	0	1,756,318
助成事業収益	0	0	6,261,838	0	6,261,838	0	0	0	0	0	0	6,261,838
事業収益合計	0	0	6,261,838	0	6,261,838	1,756,318	752,759	0	2,509,077	0	0	8,770,915
受取補助金等												
受取補助金等合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金												
受取負担金合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金												
受取寄付金	0	0	0	251,689	251,689	0	0	0	0	0	0	251,689
指定正味財産からの振替額	0	0	144,176,070	0	144,176,070	0	0	0	0	0	0	144,176,070
受取寄付金合計	0	0	144,176,070	251,689	144,427,759	0	0	0	0	0	0	144,427,759
雑収益												
受取利息	229	0	0	0	229	0	0	0	0	2,474	0	2,703
受取配当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,000	0	2,000
雑収益合計	229	0	0	0	229	0	0	0	0	4,474	0	4,703
経常収益合計	229	0	150,437,908	251,689	150,689,826	1,756,318	752,759	0	2,509,077	4,474	0	153,203,377
(2) 経常費用												
事業費												
給料手当	1,634,173	466,907	1,400,720	0	3,501,800	373,525	93,381	0	466,906	0	0	3,968,706
法定福利費	229,780	65,651	196,954	0	492,385	52,521	13,130	0	65,651	0	0	558,036
旅費交通費	125,484	72,473	107,558	0	305,515	231,609	7,171	0	238,780	0	0	544,295
新聞図書費	0	0	0	0	0	0	57,603	0	57,603	0	0	57,603
通信運搬費	79,096	22,599	67,797	0	169,492	18,079	4,520	0	22,599	0	0	192,091
助成事業原価	0	0	690,973	0	690,973	0	0	0	0	0	0	690,973
減価償却費	27,749	7,928	23,785	0	59,462	6,342	1,586	0	7,928	0	0	67,390
消耗品費	0	45,414	0	0	45,414	159,692	21,578	0	181,270	0	0	226,684
印刷製本費	199,224	56,921	170,763	0	426,908	45,537	11,384	0	56,921	0	0	483,829
賃借料	45,360	65,150	38,880	0	149,390	143,118	2,592	0	145,710	0	0	295,100
諸謝金	0	0	0	0	0	132,252	0	0	132,252	0	0	132,252
租税公課	3,483	995	2,985	0	7,463	796	199	0	995	0	0	8,458
支払負担金	0	97,505	0	0	97,505	0	0	0	0	0	0	97,505
支払手数料	60,300	16,920	347,118	0	424,338	15,648	3,384	0	19,032	0	0	443,370
支払助成金	31,124	0	144,176,070	0	144,207,194	0	0	0	0	0	0	144,207,194
委託費	877,849	250,814	752,442	0	1,881,105	213,611	50,163	0	263,774	0	0	2,144,879
雑費	45,458	12,988	38,964	0	97,410	12,390	5,598	0	17,988	0	0	115,398
事業費合計	3,359,080	1,182,265	148,015,009	0	152,556,354	1,405,120	272,289	0	1,677,409	0	0	154,233,763
管理費												
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,300,359	0	1,300,359
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	98,478	0	98,478
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	150,150	0	150,150
交際費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	182,024	0	182,024
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53,778	0	53,778
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33,898	0	33,898
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,892	0	11,892
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	109,512	0	109,512
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26,352	0	26,352
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	85,382	0	85,382
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19,440	0	19,440
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,492	0	1,492
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25,379	0	25,379
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	376,222	0	376,222

正味財産増減計算書内訳表
平成 29 年 1 月 1 日 から平成 29 年 12 月 31 日 まで

(円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計				法人会計	内部取引消去	合 計
	融資事業	知恵・知見の蓄積 事業	助成事業	公益共通	小 計	社会デザイン事業	社会企業家育成 事業	収益共通	小 計			
支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34,868	0	34,868
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19,481	0	19,481
管理費合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,528,707	0	2,528,707
経常費用計	3,359,080	1,182,265	148,015,009	0	152,556,354	1,405,120	272,289	0	1,677,409	2,528,707	0	156,762,470
評価損益等調整前当期経常増減額	△3,358,851	△1,182,265	2,422,899	251,689	△1,866,528	351,198	480,470	0	831,668	△2,524,233	0	△3,559,093
評価損益等調整 評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△3,358,851	△1,182,265	2,422,899	251,689	△1,866,528	351,198	480,470	0	831,668	△2,524,233	0	△3,559,093
2.経常外増減の部												
(1)経常外収益												
経常外収益合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用												
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計計振替額	0	0	0	831,668	831,668	0	0	△831,668	△831,668	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	831,668	831,668	0	0	△831,668	△831,668	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△3,358,851	△1,182,265	2,422,899	1,083,357	△1,034,860	351,198	480,470	△831,668	0	△2,524,233	0	△3,559,093
一般正味財産期首残高	△23,544	△2,360,923	4,879,453	2,614,471	5,109,457	7,753,128	△2,651,221	△1,279,454	3,822,453	△20,671,579	0	△11,739,669
一般正味財産期末残高	△3,382,395	△3,543,188	7,302,352	3,697,828	4,074,597	8,104,326	△2,170,751	△2,111,122	3,822,453	△23,195,812	0	△15,298,762
II 指定正味財産増減の部												
受取補助金等												
受取補助金等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金(共感助成)	0	0	157,287,546	0	157,287,546	0	0	0	0	0	0	157,287,546
一般正味財産への振替額	0	0	△149,746,935	0	△149,746,935	0	0	0	0	0	0	△149,746,935
当期指定正味財産増減額	0	0	7,540,611	0	7,540,611	0	0	0	0	0	0	7,540,611
指定正味財産期首残高	19,244,932	0	9,760,650	65,000,000	94,005,582	0	0	0	0	0	0	94,005,582
指定正味財産期末残高	19,244,932	0	17,301,261	65,000,000	101,546,193	0	0	0	0	0	0	101,546,193
III 基金増減の部												
当期基金増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基金期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基金期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IV 正味財産期末残高	15,862,537	△3,543,188	24,603,613	68,697,828	105,620,790	8,104,326	△2,170,751	△2,111,122	3,822,453	△23,195,812	0	86,247,431

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表の注記3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載をしているため記載を省略する。

2. 引当金の明細

該当事項なし

財産目録
2017/12/31現在
公益財団法人 信託資本財団

(単位：円)

貸借対照表		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金預金				
	現金	手元保管	運転資金として	3,557,158
	普通預金		運転資金として	3,141,413
	三菱東京UFJ銀行市ヶ谷支店			48,915
	三井住友銀行麹町支店			570,833
	京都信用金庫本店			2,521,665
	定期預金		運転資金として	35,070
	三菱東京UFJ銀行市ヶ谷支店			35,070
その他の流動資産				0
流動資産合計				6,733,641
(固定資産)				
基本財産				
	定期預金(設立金)		設立金として	5,000,000
	指定・UFJ			5,000,000
特定資産				
	貸付原資積立金		融資事業貸付原資として	23,299,000
	指定・UFJ			23,299,000
	助成原資積立金		助成事業貸付原資として	9,430,559
	指定・楽天251支店			984,012
	指定・ゆうちょ019支店			5,986,858
	指定・京都信用金庫本店			2,459,689
	長期貸付金		融資事業貸付金	3,951,000
	指定・融資499			3,951,000
	財団運営管理積立金			10,000,000
	指定・京都信用金庫本店			10,000,000
	復興支援積立金			10,000,000
	指定・京都信用金庫本店			10,000,000
	助成積立金			10,000,000
	指定・京都信用金庫本店			10,000,000
	知恵・知見促進活用積立金			10,000,000
	指定・京都信用金庫本店			10,000,000
その他固定資産				160,949
	ソウトウエア	オフィス	webシステム維持管理費	36,667
	什器備品	オフィス	パソコン	24,282
	敷金		オフィスレンタル敷金	50,000
	出資金		京都信用金庫出資金	50,000
固定資産合計				81,841,508
資産合計				88,575,149
(流動負債)				
	預り金			127,158
	社会保険料		従業員給与の預かり保険料	110,330
	源泉所得税		従業員給与の預かり源泉所得税	2,437
	労働保険		従業員給与の預かり労働保険	14,391
	短期借入金			334,560
	個人借入		運転資金として	334,560
	1年以内返済予定長期借入金			1,866,000
	京都信用金庫本店		運転資金として	1,866,000
流動負債合計				2,327,718
(固定負債)				
	長期借入金			0
固定負債合計				0
負債合計				2,327,718
正味財産合計				86,247,431

2018年度 公益財団法人信託資本財団 事業報告書

目次

□ 基本方針	2
□ 事業内容	
1 融資事業（公益目的事業1）	2-4
2 知恵・知見の蓄積事業（公益目的事業2）	4-6
3 助成事業（公益目的事業3）	6-9
4 社会デザイン事業（収益事業1）	10
5 社会企業家育成事業（収益事業2）	10-11
□ 管理部門	
1 業務執行体制	11
2 広報体制	11-12

【添付資料】

添付資料1 2018年度 正味財産増減内訳表

添付資料2 2018年度 貸借対照表

添付資料3 2018年度 損益計算書

□ 基本方針

・重点的に取り組んできた社会事業家の育成ならびに社会事業家がより強力に社会課題を解決していくための社会事業家間・社会事業家と地方行政のネットワーク化に引き続き取り組んだ。

・社会事業家と受益者・支援者間の関係性を育み、社会事業家が活躍し易くする土壌作り

に引き続き取り組んだ。

・以上の取り組みをはじめとした事業を通して、当法人が、社会課題解決に欠かせないとして設立目的に掲げている信託資本制度の充実、すなわち知恵知見のような無形資産の活用による社会における相互扶助ネットワークづくり活動に取り組んだ。

・社会的事業の裾野が広がるに連れ、事業運営・経営の難しさから消耗している事業家が増えている状況を鑑み、当年度新たに、持続可能な事業運営の指針となる学びの提供とそうした支援を全国に広げる計画策定に取り組んだ。

□ 事業内容

1 融資事業（公益目的事業 1）

社会事業家を発掘、育成していくための無利子・無担保・無保証融資事業。

融資応募段階にある事業家の相談に積極的に応じることにより、結果における融資有無に関わらず、社会事業家の育成促進を目指した。

1-1 独自融資

■実績

2018 年度末時点

累計融資実施件数： 42 件

累計融資実施団体数： 34 団体

累計融資実績額： 102,070,000 円

1 通常融資

【第 19 期募集】

・受付期間：2018 年 2 月 1 日（木）～ 3 月 23 日（金）

・審査会日：2018 年 4 月 20 日（金）

・応募件数： 3 件

・一次（書類・現地訪問）審査通過件数： 4 件

・当期審査通過件数： 1 件

↳融資対象者： 合同会社 NICONICOYASAI

代表者名： 塩川 実

所在地： 兵庫県南あわじ市市福永 539-2

契約時期： 2018 年 9 月

返済額： 3,000,000 円

返済期間： 24 ヶ月

事業内容： ベトナムにおける有機農産物の生産と販売事業。

有機農業を広めるため、同国南部ダクラック省バンメトートにて 2011 年事業立ち上げ。

南部での事業が安定してきたため、北部での生産地・販路拡大に向け、ソンラー省モクチャウにて 2017 年よりパイロット事業を開始し、生産拡大とハノイ市での販路開拓を展開中。

【第 20 期募集】

・受付期間： 2018 年 8 月 26 日（日）～ 9 月 28 日（金）

・審査会日： 2018 年 10 月 26 日（木）

・応募件数： 2 件

公益財団法人 信託資本財団 2018 年度 事業報告

- ・一次（書類・現地訪問）審査通過件数： 1 件
- ・当期審査通過件数： 1 件
 - ↳融資対象者： 二求の塾
 - 代表者名： 佐藤 壮
 - 所在地： 兵庫県東灘区御影 2-5-10
 - 契約時期： 2018 年 11 月
 - 返済額： 1,500,000 円
 - 返済期間： 24 ヶ月
 - 事業内容： 不登校・ひきこもりを克服したスタッフが立ち上げ、同じく現代社会に息苦しさを感じている若者に対して、心身の癒しの場を提供し、学習支援やカウンセリングを通して社会復帰をサポート。

【2018 年度継続・終了の融資】

- ・ 合 同 会 社 nimai-nitai
(融資額 1,000,000 円／期間 2017 年 1 月 1 日～2018 年 1 月 31 日)
- ・ 一 般 社 団 法 人 く じ ら 雲
(融資額 3,000,000 円／期間 2017 年 2 月 3 日～2019 年 1 月 31 日)

2 つなぎ融資

国または地方公共団体ないしそれに準じる組織から直接補助金、助成金等の交付を受けるまでの資金のつなぎを目的とする融資

【募集】 随時

- ・応募件数： 1 件
- ・新規実施件数： 0 件（ただし、2018 年度末現在当該応募 1 件を審査中）

1-2 金融機関との協働融資

独自融資枠では事業発展資金手当が不足する成長期事業向け融資の位置づけ。当財団が、第 1 次審査として、書類審査・本社訪問・面談を実施する。通過した事業者に対し、京都信用金庫が第 2 次審査を行う。融資が決定した事業者は、京都信用金庫に利子を支払うが、当財団が利子相当額を事業者に助成することによって、当該事業者は、結果的に無利子で融資を受けることができる仕組みである。

【募集】 随時

- ・応募件数： 3 件
- ・第 1 次審査通過件数： 1 件
- ・第 1 次審査継続中： 1 件
- ・第 2 次審査通過： 1 件
- 新規実施件数： 0 件
 - ↳融資対象者： 株式会社 ReVorg
 - 代表者名： 鯉谷淑敬
 - 所在地： 東京都渋谷区渋谷 1-27-21-1318
 - 事業内容： インバウンド活性化事業。

1,000 万円の枠を獲得したが、2018 年度末時点、京都信用金庫に対し、融資申請が行われていない。

【2018 年度継続・終了の協働融資】

- ・株式会社坂ノ途中
(利息助成期間： 2013 年 10 月 31 日～2018 年 10 月 20 日)

1-3 事業相談会の実施

社会事業家の経営上の悩みや社会における事業障壁の解決を支援するため、融資・共感助成実施中の事業者、応募検討者を対象とした代表理事による事業相談会を以下の通り開催した。

- ・日程： 2018 年 2 月 10 日(土)・8 月 4 日(土)
- ・申込件数： 各 6 件 (計 12 件)
- ・事業相談会経由の融資応募件数： 2 件

2 知恵・知見の蓄積事業 (公益目的事業 2)

2-1 良質な知恵・知見および人的ネットワークの蓄積

本年度も、共感融資・助成を開始する際に、すべての代表者と信頼責任者 (事業の支援者計 3 名) から、社会課題解決に関する知恵知見提供を得てデータとして蓄積した。

2-2 ウェブシステムの構築

蓄積した知恵・知見をベースに、社会的事業や課題に関する解決策を求める事業者と、これに対応する知恵・知見・技術を持つ事業者をウェブ上で結び付けるシステム構築に向け、2014 年度より試験運用を開始しているシステムについては、機能の再検討が必要と判断されたために、一般公開を延期し、オフラインネットワークの活性化に注力した。

2-3 オフラインネットワークの活性化

社会課題解決に向け、助成金等に過度に依存せず相互扶助し合う実質的な社会事業家や支援者のネットワーク拡大に向けたオフラインの場として、様々な主催企画を開催。特に、連続開催した「シンライノテーブル」は、社会事業家同士が協力関係を育むため、共感融資・共感助成代表者ならびに事業塾「A-KIND 塾」卒塾生が、取り組んでいる社会事業内容を共有し、事業の悩みを話し合う場とした。

■実績

「シンライノテーブル」

開催日： 2018 年 1～8 月 毎月 1 回

開催地： 東京都千代田区

参加人数： 各回 5～12 名 (当法人メンバー、共感融資・助成先、A-KIND 塾卒塾生)

内 容： 社会事業家同士の相互扶助関係醸成

「A-KIND 塾・未来設計実践塾 OB・OG 会」

開催日： 2018 年 1～12 月 毎月 1 回

開催地： 京都市風伝館

参加人数： 各回 5～10 名程度 (ただし、12 月の同窓会は 30 名)

内 容： 卒塾生同士の情報交換、相互扶助関係を目指しての各々の現場訪問計画立案

公益財団法人 信託資本財団 2018 年度 事業報告

「信託ギャザリング@東京」

開催日： 2018 年 9 月

開催地： 東京都 目黒区 Impact Hub Tokyo

参加人数：約 60 名

内 容： 関東を中心に活動する共感融資・助成先の活動紹介、各々が抱える社会課題解決に向けた障壁に関しテーブル毎の検討を実施

「地球未来シンポジウム」

開催日： 2018 年 11 月

開催地： 京都市 京都造形芸術大学

参加人数：約 50 名

内 容： 定款に目的として定める「地球環境保全」視点から、現在大きな社会問題に

あっている核廃棄物の問題解決への道筋と向き合うシンポジウムを実施

「HOSP 月間」

期 間： 2018 年 11～12 月

開催地： 京都市

参加団体：15 団体

内 容： 社会課題に向き合っている京都市の各団体に呼びかけ、同時期に各々の主催企画を開催し、広く社会課題を認知してもらい、相互扶助の重要性を理解していただく月間として設定

「信託デイ」

開催日： 2018 年 12 月

開催地： 京都市 ハートピア京都

参加人数：約 100 名

内 容： 全国で活動をする共感融資・助成先の代表者ならびに信託責任者、卒業生、寄付者が集い、これからの社会に関する重要なテーマについて学び、解決への道筋に向き合う例年の会を本年度も開催

3 助成事業（公益目的事業3）

「事業指定助成」という形態の「共感助成」事業。

随時申請を受け審査の上、助成先を決定し、これを「共感助成先」と称している。

寄付者は、共感助成先の中から支援したい事業者を指定して寄付をし、当法人は、その寄付金をもとに助成を行う。当法人は、共感助成先の学びや相互扶助ネットワークづくりの場の提供や、特に広報面での支援を行っている。

■実績

今期実施団体数： 29 団体

今期助成額： 138,081,415 円

累積実施団体数： 51 団体

【共感助成先】

・特定非営利活動法人チームレスキュー

代表者名： 小野 聡美

所在地： 愛知県瀬戸市市場町 13 番地

事業内容： 東日本大震災直後から宮城県七ヶ浜町を拠点に、復興支援活動をしていた

が、その後、被災地各所に活動範囲を広げており、本年度は西日本豪雨被災地支援を実施

- ・ 特定非営利活動法人ユナイテッド・アース
代表者名： 瀧上 智信
所在地： 兵庫県神戸市中央区東川崎町 1-7-4
事業内容： 市民の共働によって、「心育まれる希望あふれる社会」を実現すべく、海外の貧困地域への自立支援活動や環境保護活動など、様々な社会問題への取り組みを行う
- ・ 一般社団法人 KYOTOGRAPHIE
代表者名： 仲西 祐介
所在地： 京都府京都市北区鞍馬口通西入ル新御霊口町 270
事業内容： 日本の古都・京都を舞台に、伝統文化と現代アートの融合を図る国際写真フェスティバル。いまだ評価の遅れている写真芸術の理解に一石を投じるべく、国内外の写真家および写真作品を世界的な視点で選出し、京都市内のギャラリーやカフェなど約 50 カ所にて紹介に努める
- ・ 国際環境 NGO FoE Japan
代表者名： 三柴 淳一
所在地： 東京都板橋区小茂根 1-21-9
事業内容： 地球規模での環境問題に取り組む活動を行う
- ・ 一般社団法人 構想日本
代表者名： 加藤 秀樹
所在地： 東京都千代田区平河町 2-9-2 エスパリエ平河町 3F
事業内容： 政策研究で終わりではなく、議員、行政職員、企業経営者、研究者など、様々な世界で活動している人たちと連携して、その経験や問題意識を政策にして、知恵を結集して政策を実現する活動を行う
- ・ 一般財団法人 教育支援グローバル基金
代表者名： 藤沢 久美
所在地： 東京都渋谷区神南 1-5-7 ETIC.内
事業内容： 東日本大震災で被災した若者がグローバルに活躍するリーダーへと成長することを支援することを目的とした事業として、包括的なリーダーシップ支援事業を実施
- ・ 一般社団法人 ピースボート災害ボランティアセンター
代表者名： 山本 隆
所在地： 東京都新宿区高田馬場 3-13-1-B1
事業内容： 国内外で起こる災害に対し、スタッフ・ボランティアを現場へ派遣し、素早くかつ大規模に被災者支援を行う。活動内容は、支援物資の配布、炊き出し、泥かきなどの清掃作業、避難所・仮設住宅居住者へのサポートなど、行政による公助では十分な対応が追いつかないものが中心
- ・ 特定非営利活動法人 キッズドア
代表者名： 渡辺 由美子
所在地： 東京都中央区新川 2-1-11 八重洲パークビル 7 階
事業内容： 親の収入によって教育機会を奪われてしまいがちな子ども達へ無料の学習支

援を中心に、すべての子どもが夢と希望のもてる社会の実現に向け「子どもの貧困」および「教育格差」を解決するための活動を行う

・一般社団法人 Japan Treasure Summit

代表者名： 小宮山 宏

所在地： 東京都渋谷区南平台町 6-4-201

事業内容： 学術芸術のすばらしき伝え、寄附により学術芸術を支える文化の醸成について考える機会を提供するサロン活動を行う。また、人材育成として学術芸術活動のためのファンドレイザー育成プログラムを展開

・一般社団法人グリーンピース・ジャパン

代表者名： 細川 弘明

所在地： 東京都新宿区西新宿 81-13-11 NF ビル 2F

事業内容： 地球規模の環境破壊を止めることを目的に、環境破壊の現場調査、科学的な分析結果に基づくレポートや代替案の作成、メディア等への情報提供、国連「総合協議資格」を利用した国際会議での働きかけや交渉過程の監視、政府・企業への代替案の提案・要請を行う

・一般社団法人アクト・ビヨンド・トラスト

代表者名： 星川 淳

所在地： 東京都文京区湯島 2-9-10-2F

事業内容： 「自然環境と人間生活の調和を目的とした市民の主体的行動を支援する」という事業目的に沿って、(1)ネオニコチノイド系（浸透性）農薬のリスク低減、(2)脱原発・エネルギーシフト、(3)東アジア環境交流の3分野で公募助成および企画助成による問題解決型の支援と、市民活動促進のための環境醸成および触媒作用を図る自主企画を実施

・特定非営利活動法人離島経済新聞社

代表者名： 大久保 昌宏

所在地： 東京都世田谷区三軒茶屋 2-49-6

事業内容： 日本で「本土」と定められる5島以外の約400島の「有人離島」の情報を集め、伝え、支える活動を行っている

・一般社団法人こいのぼり

代表者名： 菅沼 正司

所在地： 愛知県豊田市渋谷町 1-1-1 6

事業内容： 有効な治療法が存在しない難病「ミトコンドリア病」の社会的創薬プロジェクトである、「7 SEAS PROJECT (7SP)」を支援する事業を展開

・Bazaar café

代表者名： マーサ メンセンディーク

所在地： 京都府京都市上京区岡松町 258

事業内容： 「誰もがありのままの姿で受け入れられ、多様な価値観を互いに尊重すること」を理念とし、それに共感する仲間と居場所「バザール・カフェ」を運営。生きることに困難を抱えている人たちの雇用の場、居場所になっており、カフェを訪れる一般客が意識しない形での支援者になる事業を展開

・特定非営利活動法人二求の塾

公益財団法人 信託資本財団 2018 年度 事業報告

代表者名： 佐藤 壮
所在地： 兵庫県神戸市東灘区御影 2-5-10
事業内容： 不登校・ひきこもりを克服したスタッフが立ち上げ、同じく現代社会に息苦しさを感じている若者に対して、心身の癒しの場を提供し、学習支援やカウンセリングを通して社会復帰のサポートを行っている

・特定非営利活動法人健康サロン

代表者名： 水内 義明
所在地： 広島市安佐南区東野一丁目 20 番 6 2 号
事業内容： 今ある高度な医療人材を活用し、地域の予防医学に注力することで健康寿命の延伸を支援

・ともいき京都

代表者名： 田村 恵子
所在地： 京都府京都市下京区万屋町 3 4 2 ガーデンコート河原町 9 0 7
緩和ケアパートナーズ事務局内
事業内容： がんを体験した人、その家族、親しい人々、市民を対象として月 2 回、「生きることへ向き合う語り合い」「生き抜く力を育むワーク」を実施。これにより、がん体験者と市民が支え合うコミュニティづくりを行う

・公益社団法人 こどもみらい研究所

代表者名： 太田 倫子
所在地： 宮城県仙台市青葉区中央 4 丁目 1 0 番 3 号 仙台キャピタルタワー 3 階
事業内容： 2011 年に発生した東日本大震災後の社会の混乱のなか「自分たちもなにかの役に立ちたい！」と考えた子どもたちが、震災のこと、復興のこと、頑張っていること、世界中から寄せられた支援に感謝していることなどを伝えるために、2012 年 3 月 11 日から、子どもたちの取材活動による新聞を作成

・特定非営利活動法人 テイラー・アンダーソン 記念基金

代表者名： 藤崎 一郎
所在地： 東京都港区高輪一丁目 5 番 7 号 クレール高輪 7 0 1
事業内容： 東日本大震災で亡くなった米国人の英語助手、テイラー・アンダーソンの「日米のかけ橋になりたい」という遺志を実現するため、テイラーの父と当時の駐米大使が共同代表となり、テイラーが教えていた宮城県石巻市を中心に子どもたちを支援する活動を続け、高校生が米国でホームステイをするなど日米の交流が深まる活動に注力

4 社会デザイン事業（収益事業 1）

講演や印刷物の販売等を行い、目指す社会について広報を行ったが、本年度は積極的な展開に至らなかった。

5 社会事業家育成事業（収益事業 2）

社会事業家育成や、社会事業をサポートする行政職員育成を目的とした塾を本年度も引き続き開講した。

5-1 A-KIND 塾

熊野英介財団代表理事を塾長とする、社会的事業家育成塾。

社会経験者で、事業をしているあるいは起業しようとしている者を対象に、「KIND=親切な、優しい、思いやりのある、心からの」という目には見えない、耳には聞こえない価値を形にし、売り手よし・買い手よし・世間よし・未来よしという「四方よし」の持続可能な社会事業を行うことで、事業の生存確率をあげ、利益を上げるための原資である信頼関係を増幅するという視点に立った講義を実施。

社会事業に限らぬビジネスの原点である「人の心を掴み」拡大再生産を行うことを、講師から、また仲間である事業家から学んでいく。

本年度は、第4期生。

当塾生によるコミュニティは本年度で約80名となり、毎月卒塾生による自主的な対話・勉強会が開催され、相互扶助関係性構築に向けて動いている。

■第4期開講実績

- ・開催日：2018年4～12月
- ・受講者数：20名

5-2 未来設計実践塾

行政職員を対象とした塾。

様々な社会課題を抱える日本の各地域において、市民の当事者意識を育み、市民が社会的事業を通して社会課題の解決に取り組みやすい環境を整備するための政策形成を学び合う場として開講した。

1期目は2年間に跨っての実施であったが、2期目は本年度内での実施とした。

講師は熊野代表理事や民の会計制度指導で公認会計士である榎下理事が担当。

卒塾生は、民のプレーヤーであるA-KIND塾生との交流を重ねており、身近に接し合うことにより、助成をする側される側といった旧態然とした関係性ではなく、官民の垣根を超えた協働をしやすい関係性の醸成が進んでいる。

■第2期開講実績

- ・開催日：2018年6月～12月
- ・受講者数：10名

5-3 NPOを極めるアカデミー塾

京都府委託事業として府として初の試み、NPO育成塾「NPOを極めるアカデミー塾」を受託開講。

単に経理やプロジェクトマネジメントといった技術的なことを学んでもらうだけではなく、持続可能な事業のために必要な思考方法等、事業の本質について学ぶ場として実施しており、次年度にわたって継続開講中である。

■第1期開講内容

- ・開催日：2018年12月～2019年3月
- ・受講団体：京都府内 特定非営利活動法人 計8団体
 - 特定非営利活動法人京都スポーツ・障がい者スポーツ推進協会
 - 特定非営利活動法人京都フィルハーモニー室内合奏団
 - 特定非営利活動法人再生医療推進センター
 - 特定非営利活動法人寺子屋プロジェクト
 - 特定非営利活動法人京都運動器障害予防研究会
 - 特定非営利活動法人京都自死・自殺相談センター
 - 特定非営利活動法人そよかぜ子育てサポート

特定非営利活動法人まちづくりねっと・うじ

□. 管理部門

1 業務執行体制

1-1 職員の入れ替わり

3年間にわたって事務局を支えた職員が関係先に入るために退職。設立時メンバーや元インターン、A-KIND 卒塾生など、新たな職員体制が事務局を引き継いだ。

現体制をベースに、今後は外部との業務委託関係で事業を拡充していく予定である。

1-2 インターン生の受入

現在の職員同様インターン生から職員になる者が続いている。

本年度も、社会事業家やその支援者になっていくような人材の育成を目的として、関西圏の大学から最大4名のインターン生の受け入れを行った。

引き続き、積極的にインターンの受け入れを行っていく予定である。

1-3 コミュニティスペース運営による事業

当法人オフィスが入る建物「風伝館」内の無料貸出コミュニティスペース運営業務を引き続き受託することにより、オフィス賃料を抑えている。

2 広報体制

2-1 ウェブページの更新

設立10年目を次年度迎えるにあたり、初めてウェブページの全面リニューアルを実施。財団の事業内容を理解してもらい易い、共感融資・助成先の社会事業家を支援し易いページ作りを行った。

2-2 SNS・メールマガジンでの発信

メールマガジン（月1回発行）およびSNS（主にFacebook）にて、当法人および共感融資・助成先の活動に関する定期的な発信を行い、引き続き賛同者の拡大をはかった。

2-3 ありがとう本チラシの作成

寄付の仕組みの中に「ありがとう本」という本等での寄付の仕組みがあるが、本年度は、共感助成団体で「ありがとう本」による寄付を増やすために使用してもらうためのチラシを作成、配布した。

2-4 メディアサイト作成に向けたインタビューの実施

事業進捗のヒヤリングを行って広報することにより共感融資・助成先、卒塾生の事業を支援するインタビューを新ウェブサイト上で開始した。

以上

貸借対照表
平成30年12月31日現在

(円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金			
現金	2,821,499	3,557,158	△ 735,659
普通預金	289,786	3,141,413	△ 2,851,627
定期預金	35,422	35,070	352
現金預金合計	3,146,707	6,733,641	△ 3,586,934
流動資産合計	3,146,707	6,733,641	△ 3,586,934
2.固定資産			
(1)基本財産			
定期預金(設立金)	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(2)特定資産			
貸付原資積立金	22,312,500	23,299,000	△ 986,500
助成原資積立金	23,293,243	9,430,559	13,862,684
長期貸付金	4,937,500	3,951,000	986,500
特定費用準備資金	34,591,683	0	34,591,683
財団運営管理積立金	0	10,000,000	△ 10,000,000
復興支援積立金	0	10,000,000	△ 10,000,000
助成積立金	0	10,000,000	△ 10,000,000
知恵・知見促進活用積立金	0	10,000,000	△ 10,000,000
特定資産合計	85,134,926	76,680,559	8,454,367
(3)その他固定資産			
ソフトウェア	855,360	36,667	818,693
什器備品	1	24,282	△ 24,281
敷金	50,000	50,000	0
出資金	50,000	50,000	0
その他固定資産合計	955,361	160,949	794,412
固定資産合計	91,090,287	81,841,508	9,248,779
資産合計	94,236,994	88,575,149	5,661,845
II 負債の部			
1.流動負債			
預り金	41,932	127,158	△ 85,226
未払金	59,429	0	59,429
短期借入金	0	334,560	△ 334,560
1年内返済予定長期借入金	0	1,866,000	△ 1,866,000
未払法人税等	0	0	0
流動負債合計	101,361	2,327,718	△ 2,226,357
2.固定負債			
長期借入金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	101,361	2,327,718	△ 2,226,357
III 正味財産の部			
【基金】			
基金合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
【指定正味財産】			
寄付金	76,048,066	101,546,193	△ 25,498,127
指定正味財産合計	76,048,066	101,546,193	△ 25,498,127
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(85,134,926)	(76,680,559)	△ 4,191,237
【一般正味財産】			
一般正味財産合計	18,087,567	△ 15,298,762	33,386,329
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
正味財産合計	94,135,633	86,247,431	7,888,202
負債正味財産合計	94,236,994	88,575,149	5,661,845

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当なし
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当なし
- (3) 固定資産の減価償却の方法
什器備品・・・定率法
ソフトウェア・・・定額法
- (4) 引当金の計上基準
該当なし
- (5) 消費税等の会計処理
税込処理

2. 会計方針の変更

該当なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本残高				
定期預金	5,000,000	—	—	5,000,000
小 計	5,000,000	—	—	5,000,000
特定資産				
貸付原資積立金	23,299,000	3,513,500	4,500,000	22,312,500
助成原資積立金	9,430,559	178,731,413	164,868,729	23,293,243
長期貸付金	3,951,000	4,500,000	3,513,500	4,937,500
財団運営管理積立金	10,000,000	—	10,000,000	0
復興支援基金	10,000,000	—	10,000,000	0
助成積立金	10,000,000	—	10,000,000	0
知恵知見活用促進積立金	10,000,000	—	10,000,000	0
特定費用準備資金	—	34,591,683	—	34,591,683
小 計	76,680,559	221,336,596	212,882,229	85,134,926
合 計	81,680,559	221,336,596	212,882,229	90,134,926

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	5,000,000	(5,000,000)	(ー)	(ー)
小計	5,000,000	(5,000,000)	(ー)	(ー)
特定資産				
貸付原資積立金	22,312,500	(22,312,500)	(ー)	(ー)
助成原資積立金	23,293,243	(23,293,243)	(ー)	(ー)
長期貸付金	4,937,500	(4,937,500)	(ー)	(ー)
特定費用準備資金	34,591,683	(34,591,683)	(ー)	(ー)
小計	85,134,926	(85,134,926)	(ー)	(ー)
合計	90,134,926	(90,134,926)	(ー)	(ー)

5. 担保に供している資産

該当なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品			
パソコン	122,688	122,687	1
小計	122,688	122,687	1
ソフトウェア			
Bokincyan データベース	275,000	275,000	0
Webbilder 製作費	950,400	95,040	855,360
小計	1,225,400	370,040	855,360
合計	1,348,088	492,727	855,361

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
該当なし

8. 保証債務等
該当なし

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
該当なし

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	183,046,346
受取寄附金（共感助成）	138,358,783
受取寄附金	40,000,000
助成事業収益	4,687,563
経常外収益への振替額	0
	183,046,346

13. 重要な後発事項
該当なし

14. その他
該当なし

正味財産増減計算書

平成 30 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日まで

(円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益			
社会企業家育成事業収益	1,217,370	752,759	464,611
社会デザイン事業収益	269,300	1,756,318	△ 1,487,018
助成事業収益	4,687,563	6,261,838	△ 1,574,275
事業収益合計	6,174,233	8,770,915	△ 2,596,682
受取寄付金			
受取寄付金	40,111,893	251,689	39,860,204
指定正味財産からの振替額	138,358,783	144,176,070	△ 5,817,287
受取寄付金合計	178,470,676	144,427,759	34,042,917
雑収益			
受取利息	1,025	2,703	△ 1,678
受取配当金	2,000	2,000	0
雑収入	227,343	0	227,343
雑収益合計	230,368	4,703	225,665
経常収益合計	184,875,277	153,203,377	31,671,900
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	5,214,652	3,968,706	1,245,946
法定福利費	723,968	558,036	165,932
広報費	77,535	0	77,535
発送費	85,643	0	85,643
印刷製本費	98,712	483,829	△ 385,117
委託費	2,275,372	2,144,879	130,493
諸謝金	0	132,252	△ 132,252
支払助成金	138,086,212	144,207,194	△ 6,120,982
消耗品費	766,225	226,684	539,541
賃借料	244,380	295,100	△ 50,720
租税公課	71,000	8,458	62,542
減価償却費	148,189	67,390	80,799
旅費交通費	711,892	544,295	167,597
通信運搬費	108,418	192,091	△ 83,673
支払手数料	288,684	443,370	△ 154,686
会議費	314,020	0	314,020
助成事業原価	0	690,973	△ 690,973
助成手数料	277,368	0	277,368
教材費	301,355	57,603	243,752
支払負担金	0	97,505	△ 97,505
地代家賃	123,120	0	123,120
雑費	120,313	115,398	4,915
事業費合計	150,037,058	154,233,763	△ 4,196,705

正味財産増減計算書

平成 30 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日まで

(円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
管理費			
給料手当	274,453	1,300,359	△ 1,025,906
法定福利費	38,104	98,478	△ 60,374
福利厚生費	16,205	0	16,205
広報費	4,079	0	4,079
発送費	11,569	0	11,569
印刷製本費	309,182	85,382	223,800
委託費	119,756	376,222	△ 256,466
諸謝金	197,697	0	197,697
消耗品費	40,064	109,512	△ 69,448
賃借料	0	19,440	△ 19,440
修繕費	20,790	26,352	△ 5,562
租税公課	1,950	1,492	458
減価償却費	7,799	11,892	△ 4,093
旅費交通費	219,730	53,778	165,952
通信運搬費	5,699	33,898	△ 28,199
支払手数料	38,438	25,379	13,059
会議費	103,948	150,150	△ 46,202
交際費	0	182,024	△ 182,024
地代家賃	6,480	0	6,480
雑費	25,164	19,481	5,683
支払利息	10,783	34,868	△ 24,085
管理費合計	1,451,890	2,528,707	△ 1,076,817
経常費用計	151,488,948	156,762,470	△ 5,273,522
評価損益等調整前当期経常増減額	33,386,329	△ 3,559,093	36,945,422
評価損益等調整			
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	33,386,329	△ 3,559,093	36,945,422
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益合計	0	0	0
(2)経常外費用			
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	33,386,329	△ 3,559,093	36,945,422
一般正味財産期首残高	△ 15,298,762	△ 11,739,669	△ 3,559,093
一般正味財産期末残高	18,087,567	△ 15,298,762	33,386,329
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取補助金等計	0	0	0
受取寄付金(共感助成)	157,548,219	157,287,546	260,673
一般正味財産への振替額	△ 183,046,346	△ 149,746,935	△ 33,299,411
当期指定正味財産増減額	△ 25,498,127	7,540,611	△ 33,038,738
指定正味財産期首残高	101,546,193	94,005,582	7,540,611
指定正味財産期末残高	76,048,066	101,546,193	△ 25,498,127
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	94,135,633	86,247,431	7,888,202

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表の注記3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載をしているため記載を省略する。

2. 引当金の明細

該当事項なし

財産目録
2018/12/31現在
公益財団法人 信託資本財団

(単位：円)

貸借対照表		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金預金				
	現金	手元保管	運転資金として	2,821,499
	普通預金		運転資金として	289,786
	三菱東京UFJ銀行市ヶ谷支店			47,746
	三井住友銀行麴町支店			240,399
	京都信用金庫本店		1,641	
	定期預金		運転資金として	35,422
	三菱東京UFJ銀行市ヶ谷支店			35,422
その他の流動資産				0
流動資産合計				3,146,707
(固定資産)				
基本財産				
	定期預金(設立金)		設立金として	5,000,000
	三菱東京UFJ銀行市ヶ谷支店			5,000,000
特定資産				
	貸付原資積立金		融資事業貸付原資として	22,312,500
	三菱東京UFJ銀行市ヶ谷支店			22,312,500
	助成原資積立金		助成事業貸付原資として	23,293,243
	楽天銀行251支店			19,740,094
	ゆうちょ019支店			1,189,173
	京都信用金庫本店			2,363,976
	長期貸付金		融資事業貸付金	4,937,500
	共感融資			4,937,500
	特定費用準備資金			34,591,683
	京都信用金庫本店			34,575,392
	三井住友銀行麴町支店			16,291
その他固定資産				
	ソウトウエア	オフィス	webシステム維持管理費	0
		オフィス	Webbilder製作費	855,360
	什器備品	オフィス	パソコン	1
	敷金		オフィスレンタル敷金	50,000
	出資金		京都信用金庫出資金	50,000
固定資産合計				91,090,287
資産合計				94,236,994
(流動負債)				
	預り金			41,932
	源泉所得税		従業員給与の預かり源泉所得税	41,932
	未払金			59,429
	未交付助成金		金額変更に伴う助成金	59,429
	1年以内返済予定長期借入金			0
	京都信用金庫本店		運転資金として	0
流動負債合計				101,361
(固定負債)				
				0
固定負債合計				0
負債合計				101,361
正味財産合計				94,135,633

2017年3月22日

監査報告

公益財団法人信頼資本財団

理事長 熊野英介 殿

監事 木村充里

2016年1月1日から2016年12月31日までの2015年度における事業報告書類、その他理事の職務執行の監査について、次の通り報告します。

1 監査の方法及びその内容

理事会その他の重要な会議に出席し、会計書類、決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

2 監査の結果

- (1)事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2)理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3)当法人の業務の適正を確保するために必要な大勢の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4)計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

以上

2018年2月25日

監査報告

公益財団法人信頼資本財団

理事長 熊野英介 殿

監事 木村充里

2017年1月1日から2017年12月31日までの2017年度における事業報告書類、その他理事の職務執行の監査について、次の通り報告します。

1 監査の方法及びその内容

理事会その他の重要な会議に出席し、会計書類、決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

2 監査の結果

- (1)事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2)理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3)当法人の業務の適正を確保するために必要な大勢の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4)計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

以上

監査報告書

私は、公益財団法人信託資本財団（以下「当財団」といいます。）の監事として、当財団の平成30年1月1日から平成30年12月31日までの事業報告及び決算について監査いたしました。

一 監査の方法およびその内容

私は、理事及び事務職員等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、事業の状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本部において業務および財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告およびその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書等）およびその附属明細書について検討いたしました。

二 監査の結果

1 事業報告等の監査結果

(1) 事業報告およびその附属明細書は、法令および定款に従い、当財団の状況を正しく示しているものと認めます。

(2) 理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

2 計算書類およびその附属明細書の監査結果

計算書類およびその附属明細書は、当財団の財産および損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

平成31年3月4日

公益財団法人信託資本財団

監事 木村 充里